

令和 3 年度

社会福祉法人大東福社会

事 業 報 告

令和3年度 法人本部拠点区分事業報告書

1. 大東福祉会の経営状況について

今年度大東福祉会の経営状況について、法人全体では事業活動資金収支差額は、前期比4.2%減の1億2,300万円程となる。内訳として、老人福祉部(大東苑、くにやす苑、小笠老人ホーム)の事業活動資金収支差額は前期比17.2%減の4,900万円程となり、子育て支援部(城東保育園、おおさかこども園、ちはまこども園)については、3園全体で前期比7.2%増の7,600万円程であった。また、経常増減差額は、前期比0.8%増の9,000万円程となった。当法人の新たな経営ビジョンの柱として令和2年度に策定した「大東福祉会中長期経営計画」では、継続的な法人・施設運営をするための積立資産計画を策定した。令和3年度は、法人全体でこの積立目標額の1億500万円を達成することができた。

事業活動収入は、介護保険事業収入が前期比2.0%減の10億2,800万円、老人福祉事業収入は前期比3.0%増の1億1,800万円、保育事業収入は前期比0.6%減の5億2,200万円、全体の事業活動収入は前期比1.3%減の16億8,000万円となった。

事業活動支出は、全体で前期比1.8%減の15億6,200万円となった。人件費が11億8,000万円と支出の大半を占めており、法人全体の事業活動人件費比率は70.5%で前期より0.1ポイント下がっている。

認定こども園については、市との基本協定に基づき、大東区域の6公立幼稚園と当法人が経営する3保育園を、3つの幼保連携型認定こども園に再編整備する事業を推進した。令和元年4月におおさかこども園が開園し、令和2年4月にちはまこども園が開園した。きとうこども園については現在建築工事が進んでおり、今後より一層、市との連携を密に、令和5年4月の開園を目指し着実な推進を図っていく。

また、掛川市、静岡県社会福祉協議会からの大東デイサービス、くにやす苑施設整備償還金助成金収入、掛川市からのきとうこども園建設補助金収入の有効活用を図った。

2. 事業毎の総括について

令和3年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染に関連する対応が、老人福祉部、子育て支援部共に求められた。

各施設では、利用者や園児、その家族や職員などの発熱等、状況に応じた感染症への対応を行った。

おおさかこども園では、8月に園児の感染により3日間の休園措置をとった。園医の迅速な対応により、園の駐車場で41名の園児のPCR検査をおこない、後日全員の陰性を確認した。

また、利用者等の体調確認に努め、状態によっては、サービス利用の可否についても理解と協力をお願いした。長期に亘る自粛生活、感染予防に配慮しながらのサービス提供、行事予定等の修正・変更への対応等職員の負担も大きく、特に老人福祉部の居宅介護支援事業への経営面での影響が大きかった。運営面では、クラスター感染の発生もなく事業を継続できたことは評価すべきこととしたい。

子育て支援事業については、城東保育園、おおさかこども園、ちはまこども園の入園率は、それぞれ118.2%、79.9%、88.2%で城東保育園は100%を達成している。おおさかこども園については、令和3年4月より利用定員の変更を行っているが、2・3号は88.9%、幼稚園の1号認定が58.7%となった。ちはまこども園については、2・3号が99.2%であり、幼稚園の1号認定が67.4%である。利用状況からも、1号認定児は減少傾向にあり、2号認定児、3号認定児の利用は増加している。

積立金については、3園合計で7,400万円となり、目標額の4,400万円を大きく上回ることができた。

きとうこども園については、造成工事を完了し、建築工事の発注、安全祈願祭と開園に向けて順調に進めている。

老人福祉事業は、各サービスの年間平均利用率等と目標利用率等を示す。

大東居宅 年間平均件数 308 (目標 315) 大東ヘルパー 年間平均利用率 78.2% (目標 85)

大東デイ 年間平均利用率 72.5% (目標 80) なかよし 年間平均利用率 67.9% (目標 70)

大東ショート 年間平均利用率 64.8% (目標 80) 大東苑 年間平均入所者数 49.3 (目標 49)

くにやすデイ 年間平均利用率 79.9%(目標 80) くにやすショート 年間平均利用率 57.0%(目標 65%)
くにやす苑 年間平均入所者数 77.8 (目標 78.4) 小笠老人ホーム年間平均入所者数 47.2 (目標 46)

施設運営では、記録ソフトや情報機器を活用し、より一層の業務の効率化を図った。今後については、利用者に寄り添ったサービスを提供し、安心、安全な運営をおこなっていく。

介護人材の確保については、非常勤職員の正規登用を行うとともに、中途採用も積極的に行っているところである。保育教諭等については、きとうこども園開園に向け計画的な人材確保を図っていききたい。

経営理念に掲げている、教育の振興・地域福祉の推進をし、社会に貢献する当法人としては、地域の方々の幸福に寄与するため、国や掛川市の教育・福祉ニーズを的確に反映し、良質なサービスを安定的に提供することが求められる。そのためには、優秀な人材確保、サービスの質向上、職員のスキルアップ、組織内の活性化等を図り、安定的な経営を目指していく。

3. 理事会の開催について

(理事の定員 6 名、監事の定員 2 名)

令和 3 年 4 月 20 日 (火) (出席理事数 5 名、出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 1 号 社会福祉法人大東福祉会 (仮称) 城東認定こども園新築工事实施設計業務委託業者選定について
- 2) 議案第 2 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設 大東苑運営規程の一部改正について
- 3) 議案第 3 号 社会福祉法人大東福祉会大東ショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 4) 議案第 4 号 社会福祉法人大東福祉会 大東デイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 5) 議案第 5 号 大東デイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) 運営規程の一部改正について
- 6) 議案第 6 号 大東デイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所型サービス A) 運営規程の一部改正について
- 7) 議案第 7 号 社会福祉法人大東福祉会 大東デイサービスセンター運営規程 (地域密着型認知症対応型通所介護) の一部改正について
- 8) 議案第 8 号 社会福祉法人大東福祉会 大東ヘルパーステーション運営規程の一部改正について
- 9) 議案第 9 号 社会福祉法人大東福祉会 大東ヘルパーステーション運営規程 (居宅介護及び重度訪問介護) の一部改正について
- 10) 議案第 10 号 大東ヘルパーステーション掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業 (訪問型サービス) 運営規程の一部改正について
- 11) 議案第 11 号 社会福祉法人大東福祉会 大東居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
- 12) 議案第 12 号 社会福祉法人大東福祉会 掛川市南部大東地域包括支援センター運営規程の一部改正について
- 13) 議案第 13 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設くにやす苑運営規程の一部改正について
- 14) 議案第 14 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 15) 議案第 15 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 16) 議案第 16 号 くにやすデイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所介護相当サービス) 運営規程の一部改正について
- 17) 議案第 17 号 くにやすデイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業 (通所型サービス A) 運営規程の一部改正について
- 18) 議案第 18 号 社会福祉法人大東福祉会 事務決裁及び委任規程の制定について
- 19) 議案第 19 号 社会福祉法人大東福祉会 経理規程細則の制定について

令和 3 年 5 月 10 日 (金) (出席理事数 6 名、出席監事数 1 名)

- 1) 議案第 20 号 社会福祉法人大東福祉会 (仮称) 城東認定こども園新築工事实施設計業務委託業者選定に伴う見積結果について

- 2) 議案第 21 号 社会福祉法人大東福祉会（仮称）城東認定こども園新築工事実施設計業務委託契約について
- 3) 議案第 22 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設大東苑運営規程の一部改正について
- 4) 議案第 23 号 社会福祉法人大東福祉会大東ショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 5) 議案第 24 号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 6) 議案第 25 号 大東デイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について
- 7) 議案第 26 号 大東デイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の一部改正について
- 8) 議案第 27 号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター運営規程（地域密着型認知症対応型通所介護）の一部改正について
- 9) 議案第 28 号 社会福祉法人大東福祉会大東ヘルパーステーション運営規程の一部改正について
- 10) 議案第 29 号 社会福祉法人大東福祉会大東ヘルパーステーション運営規程（居宅介護及び重度訪問介護）の一部改正について
- 11) 議案第 30 号 大東ヘルパーステーション掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について
- 12) 議案第 31 号 社会福祉法人大東福祉会大東居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について
- 13) 議案第 32 号 社会福祉法人大東福祉会掛川市南部大東地域包括支援センター運営規程の一部改正について
- 14) 議案第 33 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設くにやす苑運営規程の一部改正について
- 15) 議案第 34 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 16) 議案第 35 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 17) 議案第 36 号 くにやすデイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について
- 18) 議案第 37 号 くにやすデイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の一部改正について

令和 3 年 6 月 11 日（金）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 38 号 令和 2 年度（仮称）城東認定こども園造成工事変更請負契約書の締結について
- 2) 議案第 39 号 令和 2 年度社会福祉法人大東福祉会事業報告について
- 3) 議案第 40 号 令和 2 年度社会福祉法人大東福祉会会計収入支出決算認定について
- 4) 議案第 41 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員候補者の推薦について
- 5) 議案第 42 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員選任・解任委員会の開催について
- 6) 議案第 43 号 社会福祉法人大東福祉会 理事候補者の推薦について
- 7) 議案第 44 号 社会福祉法人大東福祉会 監事候補者の推薦について
- 8) 議案第 45 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

令和 3 年 6 月 29 日（火）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 46 号 社会福祉法人大東福祉会 理事長の選定について
- 2) 議案第 47 号 令和 3 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事業者選定について

令和 3 年 7 月 12 日（月）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 48 号 令和 3 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 49 号 令和 3 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事請負契約について
- 3) 議案第 50 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設 大東苑運営規程の一部改正について
- 4) 議案第 51 号 社会福祉法人大東福祉会大東ショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 5) 議案第 52 号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 6) 議案第 53 号 大東デイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について

- 7) 議案第 54 号 大東デイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の一部改正について
- 8) 議案第 55 号 社会福祉法人大東福祉会大東デイサービスセンター運営規程（地域密着型認知症対応型通所介護）の一部改正について
- 9) 議案第 56 号 社会福祉法人大東福祉会介護老人福祉施設くにやす苑運営規程の一部改正について
- 10) 議案第 57 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすショートステイサービス運営規程の一部改正について
- 11) 議案第 58 号 社会福祉法人大東福祉会くにやすデイサービスセンター運営規程の一部改正について
- 12) 議案第 59 号 くにやすデイサービスセンター介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所介護相当サービス）運営規程の一部改正について
- 13) 議案第 60 号 くにやすデイサービスセンター掛川市介護予防・日常生活支援総合事業第 1 号通所事業（通所型サービス A）運営規程の一部改正について
- 14) 議案第 61 号 令和 3 年度 社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 15) 議案第 62 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和 3 年 9 月 21 日（火）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 63 号 社会福祉法人大東福祉会 給与規程の一部改正について
- 2) 議案第 64 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員給与規程の一部改正について
- 3) 議案第 65 号 令和 3 年度特別養護老人ホームくにやす苑居室空調機更新工事変更請負契約書の締結について

令和 3 年 10 月 25 日（月）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 66 号 社会福祉法人大東福祉会 就業規則の一部改正について
- 2) 議案第 67 号 社会福祉法人大東福祉会 非常勤職員就業規則の一部改正について
- 3) 議案第 68 号 社会福祉法人大東福祉会小笠老人ホーム運営規程の制定について
- 4) 議案第 69 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 5) 議案第 70 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和 3 年 11 月 18 日（木）（出席理事数 4 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 71 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事に伴う制限付き一般競争入札要綱について
- 2) 議案第 72 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事に伴う入札執行伺について
- 3) 議案第 73 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事に伴う制限付き一般競争入札要綱について
- 4) 議案第 74 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事に伴う入札執行伺について
- 5) 議案第 75 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事に伴う制限付き一般競争入札要綱について
- 6) 議案第 76 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事に伴う入札執行伺について
- 7) 議案第 77 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園新築工事監理業務委託業者選定について
- 8) 議案第 78 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホーム大東苑給食業務委託契約について
- 9) 議案第 79 号 社会福祉法人大東福祉会特別養護老人ホームくにやす苑給食業務委託契約について

令和 3 年 12 月 24 日（金）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 80 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 81 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園建設工事請負契約について
- 3) 議案第 82 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事業者選定に伴う入札結果について
- 4) 議案第 83 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園機械設備工事請負契約について
- 5) 議案第 84 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事業者選定に伴う入札結果について
- 6) 議案第 85 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園電気設備工事請負契約について
- 7) 議案第 86 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園新築工事監理業務委託業者選定に伴う見

積結果について

- 8) 議案第 87 号 令和 3・4 年度（仮称）城東認定こども園新築工事監理業務委託契約について
- 9) 議案第 88 号 令和 3 年度 社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 10) 議案第 89 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会簡易陰圧装置物品購入業者選定について
- 11) 議案第 90 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和 4 年 1 月 14 日（金）（出席理事数 6 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 91 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会簡易陰圧装置物品購入業者選定に伴う入札結果について
- 2) 議案第 92 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会簡易陰圧装置物品購入契約について

令和 4 年 2 月 21 日（月）（出席理事数 4 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 93 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 2) 議案第 94 号 社会福祉法人大東福祉会評議員会の開催について

令和 4 年 3 月 15 日（火）（出席理事数 5 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 95 号 社会福祉法人大東福祉会 経理規程の一部改正について
- 2) 議案第 96 号 社会福祉法人大東福祉会 育児休業規程の一部改正について
- 3) 議案第 97 号 社会福祉法人大東福祉会 介護休業規程の一部改正について
- 4) 議案第 98 号 社会福祉法人大東福祉会養護老人ホーム小笠老人ホーム給食業務委託契約について
- 5) 議案第 99 号 令和 3 年度 くにやす苑拠点区分積立金の積み立てについて
- 6) 議案第 100 号 令和 3 年度 城東保育園拠点区分積立金の積み立てについて
- 7) 議案第 101 号 令和 3 年度 おおさかこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 8) 議案第 102 号 令和 3 年度 ちはまこども園拠点区分積立金の積み立てについて
- 9) 議案第 103 号 令和 3 年度 小笠老人ホーム拠点区分積立金の積み立てについて
- 10) 議案第 104 号 令和 3 年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出補正予算について
- 11) 議案第 105 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福祉会 事業計画について
- 12) 議案第 106 号 令和 4 年度 役員等賠償保険加入について
- 13) 議案第 107 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算について
- 14) 議案第 108 号 令和 4 年度 社会福祉法人大東福祉会 収入支出予算における、城東保育園拠点区分より法人本部拠点区分への資金繰り入れについて
- 15) 議案第 109 号 令和 4 年度 くにやす苑拠点区分積立金の一部取り崩しについて
- 16) 議案第 110 号 社会福祉法人大東福祉会 特別養護老人ホーム大東苑施設長の任免について
- 17) 議案第 111 号 社会福祉法人大東福祉会 幼保連携型認定こども園おおさかこども園施設長の任免について
- 18) 議案第 112 号 社会福祉法人大東福祉会 理事候補者の推薦について
- 19) 議案第 113 号 社会福祉法人大東福祉会 本部事務局次長の選任について
- 20) 議案第 114 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員会の開催について

4. 評議員会の開催について

（評議員の定員 7 名）

令和 3 年 6 月 29 日（火）（出席評議員数 6 名、出席理事数 1 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 1 号 令和 2 年度社会福祉法人大東福祉会 事業報告について
- 2) 議案第 2 号 令和 2 年度社会福祉法人大東福祉会 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認について
- 3) 議案第 3 号 社会福祉法人大東福祉会 理事の選任について
- 4) 議案第 4 号 社会福祉法人大東福祉会 監事の選任について

令和 3 年 7 月 20 日（木）（出席評議員数 7 名、出席理事数 1 名、出席監事数 1 名）

- 1) 議案第 5 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について

令和 3 年 11 月 2 日（火）（出席評議員数 6 名、出席理事数 1 名、出席監事数 2 名）

- 1) 議案第 6 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について

令和 4 年 1 月 6 日（木）（出席評議員数 6 名、出席理事数 1 名、出席監事数 1 名）

1) 議案第 7 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
令和 4 年 3 月 2 日 (水) 書面決議

1) 議案第 8 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
令和 4 年 3 月 25 日 (木) (出席評議員数 7 名、出席理事数 1 名 出席監事数 2 名)

- 1) 議案第 9 号 令和 3 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出補正予算について
- 2) 議案第 10 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会事業計画について
- 3) 議案第 11 号 令和 4 年度社会福祉法人大東福祉会収入支出予算について
- 4) 議案第 12 号 社会福祉法人大東福祉会理事の選任について

5. 評議員会選任・解任委員会の開催について (委員 5 名)

令和 3 年 6 月 21 日 (月) (出席委員数 5 名、出席理事数 1 名)

- 1) 議案第 1 号 社会福祉法人大東福祉会 評議員の選任について

6. 監事監査の実施について

1. 開催日時・場所

内 容	開 催 日 時	場 所
決算監査	令和 3 年 5 月 28 日 (金) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分	城東保育園・ちはまこども園・ おおさかこども園・小笠老人ホ ーム
決算監査	令和 3 年 5 月 31 日 (月) 午前 8 時 50 分～午後 5 時 30 分	くにやす苑・大東苑・本部
定期監査	令和 3 年 10 月 29 日 (金) 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分	大東苑・くにやす苑
定期監査	令和 3 年 11 月 5 日 (金) 午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分	城東保育園・ちはまこども園
定期監査	令和 3 年 11 月 10 日 (水) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分	おおさかこども園・小笠老人ホ ーム・本部

7. 令和 3 年度社会福祉施設等の指導監査の実施について

1. 静岡県指導監査 開催日時・場所等

実 施 施 設	開 催 日 時	場所等	県担当者
小笠老人ホーム	令和 3 年 10 月 14 日 (木) 午後 0 時 55 分～午後 3 時 15 分	会議室	蒔田主幹
城東保育園	令和 3 年 10 月 19 日 (火) 午後 1 時 10 分～午後 2 時 50 分	職員室	中村主事
ちはまこども園	令和 3 年 11 月 26 日 (金) 午前 9 時 30 分～午後 0 時 10 分	会議室	村田主事
おおさかこども園	令和 3 年 11 月 26 日 (金) 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分	会議室	村田主事

2. 結果

実 施 施 設	改善指導事項	助言指摘事項	是正・改善の具体的方策
小笠老人ホーム	なし	なし	
城東保育園	なし	なし	
ちはまこども園	なし	なし	
おおさかこども園	なし	なし	

8. 苦情解決結果について

おおさかこども園

■受付日 令和4年1月13日

申出人 保護者

内 容 前日から出ていた蕁麻疹について、保育教諭から広がっている旨の連絡を受け受診したが、園で手足口病や水疱瘡が流行っているなどの説明もあり、仕事を休んで受診した。園行事にも参加させられず辛かった。結局、蕁麻疹はそのまま収まった。電話での対応を威圧的に感じ、受診することにしたが、早退受診の必要は無かったのではないかと。

結 果 翌日保護者の話を伺う機会を設け、体調の確認について、保護者の思いを確認せず、行事に参加させたい思いもくみ取ることが出来なかったことを謝罪した。登園基順に準じ、保護者と体調についての相談が必要と判断し連絡した経緯を説明し、ご理解を頂いた。今後は、保護者にこども園の登園基準について定期的に周知を図り、共通理解を得られるようにしていく。

大東ショートステイサービス

■受付日 令和4年2月16日

申出人 利用者家族

内 容 ショートステイ利用後、帰宅時に内出血が出来た旨の報告を受けたが、自宅で着替える際に確認したところ、大きな内出血の為びっくりした。何故、あのような内出血が出来たのか、納得できる説明が欲しかった。

結 果 利用者宅で話す機会を設け、利用中はいつも通り負担がないよう配慮して移乗対応等を行っていた。内出血が出来た原因については特定できていないことを説明した。また、職員がご家族に説明する際に、言葉が足りなかったことを謝罪した。ゆっくりご家族の思いを伺い、状況説明を行うことで、ご理解して頂けた。今後は発見した時にすぐ家族に状況の報告を行うよう職員に指導、周知した。また、会議にて、担当看護師、介護職等職種で連携し、対応することを確認した。

令和3年度 城東保育園拠点区分事業報告書

1 令和3年度の総括

今年度も、コロナ対応で追われる日々であったが、園行事の縮小や見直しをおこない、工夫しながらいろいろな活動を子どもたちに経験させることができた。また、コロナの発生件数は、1月から3月の間、園児の陽性者は、5人（みなし陽性含む）、保護者等家族陽性者は、14人であった。感染者が発生するたびに消毒と職員の抗原検査を実施し、陰性を確認したうえで事業を継続したが、園内感染はなく、職員の感染は防ぐことが出来た。また、保護者の協力と職員の迅速な対応により、2次感染を防げたことで、休園することなく園運営が継続できた。日々の情報をきめ細やかに保護者にメール配信し、感染予防への協力も呼びかけ、登園を控えて家庭保育する家庭もあったが、苦情もなく、経過した。

「きょうこども園」は開園に向け、1月より週1回の工程会議を行いながら建設工事が始まった。

運営面については、入園率が118%を達成し、積立金も目標額1,300万円から1,800万円へと増額することができた。

保育面については、保育士の専門的な知識や技術を活かし保育環境を整えるとともに、子どもたち一人一人に寄り添いながら、健やかに成長できるような教育・保育を提供した。1年間のテーマを決めて行った食育集会では、職員劇を通し、子どもたちが挑戦し頑張る心や優しい心を育むことができた。また、園での活動や手紙等をメール配信するなどして保育園での子どもの成長を保護者と共有しながら育児の楽しさを味わうよう保護者支援を行った。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 R3.4.1～R4.3.31

定員 90名 (人)

歳 月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	定員割合 (%)
4	5	14	18	18	24	24	103	114.4
5	6	14	18	18	24	24	104	115.5
6	6	14	18	18	24	24	104	115.5
7	7	15	18	18	24	24	105	116.6
8	7	15	18	18	24	24	105	116.6
9	9	15	18	18	24	24	108	120.0
10	9	15	18	18	24	24	108	120.0
11	9	15	18	18	24	24	108	120.0
12	9	15	18	18	24	24	108	120.0
1	9	15	18	18	24	24	108	120.0
2	9	15	18	18	24	24	108	120.0
3	9	15	18	18	24	24	108	120.0
合計	94	177	216	216	288	288	1,277	118.2

2) 学級編成・職員数

(3月31日現在) (人)

※職員数 正規職員 12人 非常勤職員 10人 嘱託職員 1人

ク ラ ス	年 齢	男 児	女 児	計	外国人	要支援児	職 員
ちゅうりっぷ1	0歳児	4	5	9	2		3
ちゅうりっぷ2	1歳児	8	7	15	1		3
あ や め	2歳児	6	12	18		2	3
き く	3歳児	7	11	18			2
す み れ	4歳児	13	11	24			2
さ く ら	5歳児	10	14	24		1	2
給食業務							4
担任外							4
計		48	60	108	1	3	23

3) 年間主要行事

親子遠足、川遊び、お別れ遠足は中止。夏祭りは、参観会として以上児のみ親子でゲーム遊びをし、夏祭り、運動会は、以上児のみで行った。発表会は、以上児と未満児を分け別の日で行うなど工夫した。

月	行 事 内 容		
4	なかよしの会・対面式	11	社会福祉施設防災訓練
5	城東学園合同引渡し訓練		ジュビロサッカー巡回教室（5歳児）
	こいのぼり会		七五三参り
	親子バス遠足（中止）		4園ふれあいの会（5歳児）
	交通教室		生活発表会（4, 5歳児）
6	参観会（以上児）	12	クリスマス会
	プール開き（以上児）		コンサート（以上児）
	花火教室（中止）	1	もちつき（祖父母参加なし）
7	七夕会		親子クッキング（中止）（5歳児）
	親子野外活動（中止）	2	まめまき会
	夏祭り（以上児）		生活発表会（2, 3歳児）
8	プール自由参観（中止）		二の丸茶会（中止）5歳児
	プール納め（以上児）	3	お別れバス遠足（中止）
9	祖父母参観会（中止）		ひなまつり会（3歳以上児）
10	運動会（以上児）		お別れ会（3歳以上児）
	貸し切りバス遠足（フルーツパーク）		茶道おさらい会（5歳児）
			卒園式（5歳児）

4) 避難訓練（園児及び職員の合同訓練を毎月行った）

月	日	訓練種別	時間や災害状況想定	訓練目的及び内容
4	16	避難誘導 消火訓練	全体集会	火災と地震との避難方法の違い、避難場所を知らせる。“おかしも”の約束、職員体制の確認。
5	14	〃	午前の一斉活動中 地震発生後出火	避難の仕方や防災頭巾の被り方を覚える。第2避難所へ避難することを覚える。
6	11	〃	午前中、雨天時想定 地震発生後出火	天候による避難方法の違いを知る。
7	6	〃	給食後の自由遊び中 給食室より出火	非常時には素早く、保育士の元に来るための大切さを知る。
8	26	〃	プール遊び中 地震発生後出火	プール遊び中の避難方法を知り、落ち着いて行動する。
9	3	〃	給食後の自由遊び中 地震発生後出火	避難誘導・消火訓練を行う。
10	8	〃	午睡中に地震発生 給食室から出火	迅速な避難を目指す。災害発生後の対処についての確認。
11	4	〃	社会福祉施設防災訓練参加	避難誘導、炊き出し訓練、水消火器による消火訓練。
12	3	〃	給食前の自由遊び中 地震発生後出火	職員の連携の再確認。発電機を起動する。
1	7	〃	給食後の自由保育中 地震発生後出火	保育士の指示に従って慌てずに避難する。職員の連携の充実を目指す。
2	4	〃	午前中の自由保育中 近隣より出火	通報訓練。迅速な状況把握と的確な判断。
3	4	〃	給食後の自由保育中 地震発生後出火	防災意識の向上、避難方法などの総合確認。

※訓練は、火災 12 回、地震 10 回行った。

※ “おかしも” お「押さない」か「かけない」し「しゃべらない」も「もどらない」

5) 不審者防犯訓練

毎月の防犯訓練の中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の確認を行った。
年1回の警察官による不審者対応（さす股の使い方、いかのおすし）を教えてもらった。

6) 健康管理

月	検査内容	対象者	備 考
4	尿検査（一次）	3～5 歳児	静岡県予防医学協会
5	尿検査（二次）	〃	静岡県予防医学協会
	内科検診	園 児	鷺山医院
6	歯科健診	園 児	中島歯科医院
	健康診断	職 員	笠南医療センター
7	健康診断	職 員	笠南医療センター
10	内科検診	園 児	鷺山医院
	ストレスチェック	職 員	静岡県予防医学協会
11	予防接種	職 員	鷺山医院

※4,5 歳児は、毎食後フッ素洗口を行った。

園児発育測定、職員保菌検査（給食担当2回）は毎月全員行った。

給食担当者は、年1回ノロウイルスの保菌検査を行った。

7) 訪問・教室

茶道（5 歳児）や体操教室（4,5 歳児）、リズムアンサンブル（4,5 歳児）は、月1回行った。
大東苑、くにやす苑訪問は、コロナのため中止。

8) 延長保育利用者数（7：00～7：45）

月	1 日平均(人)	月	1 日平均(人)	月	1 日平均(人)
4	6	8	9	12	8
5	10.5	9	14	1	6
6	8	10	10	2	9
7	9	11	7	3	9

※年間延べ人数 2,731 人（一日平均 11 人）

9) 給食（食育）

栄養士は法人給食会議にて、新メニューや衛生管理等に関する情報交換を行い、よりよい給食を提供できるよう努めた。今年度は、「日本人の食事摂取基準（2020 年度版）」に基づき給与栄養目標量を設定し、それをもとに献立作成を行った。献立作成にあたり、毎月旬の食材を使ったメニューを積極的に取り入れた。そして、年2回子どもの栄養状態を把握し、提供した食事が適切なものであったかを評価し、11月に給与栄養目標量の見直しを行った。

アレルギー体質児の除去食5名と乳児の離乳食については、個々の状態に対応できるよう保護者とクラス担任と連携をとり、調理を行った。

食育活動においては、コロナの感染状況により計画通り実施できないものもあったが、4、5歳児対象の出張クッキング、3つの食品群ボード“栄養列車”、その他パネルシアターや紙芝居等の媒体を使った食育指導を可能な範囲で行い、子どもたちの食への興味を広げる機会となった。

保護者に対しては、食や栄養に関する情報提供、レシピ配布等を行った。また、家庭における子どもの食生活の実態を知るためのアンケート調査を5月に実施した。アンケート結果から得られた家庭での食生活の問題点や保護者のニーズを、献立作成や情報提供に活用した。

今後、子どもたちが楽しく食事ができる環境作りや給食作りにも取り組み、様々な食育活動や給食を通して、子どもたちに食の大切さや楽しさを伝え、心身の健やかな成長を支えていく。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人 数	主 催 者
4 月 16 日	特別支援教育コーディネーター研修会	1	掛川市教育委員会
4 月 24 日	掛川小笠保育士会総会記念講演 (リモート)	1	掛川小笠保育士会
5 月 14 日	かけがわ乳幼児教育未来学会記念講演 (リモート)	5	かけがわ乳幼児教育未来学会
5 月 17 日	静岡県保育連合会研修会 (リモート)	1	静岡県保育連合会
5 月 21, 22 日	令和 3 年度新規採用職員研修会 (リモート)	1	静岡県保育連合会
5 月 25 日	静岡県保育士会総会・研修会	1	静岡県保育士会
5 月 26 日	掛川小笠保育士会給食研修会	1	掛川小笠保育士会
6 月 9 日	キャリアアップ研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
6 月 16 日	かけがわ乳幼児教育未来学会 健康安全研究部 (リモート)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6 月 26 日	かけがわ乳幼児教育未来学会研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6 月 29 日	第 1 回 リズム表現と遊び	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7 月 6 日	キャリアアップ研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
7 月 20 日	教材研究	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7 月 26 日	特別支援教育コーディネーター研修会	1	掛川市教育委員会
7 月 30 日	キャリアアップ研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
8 月 6 日	第 2 回 リズム表現と遊び	3	かけがわ乳幼児教育未来学会
8 月 24 日	教育研究部 園務主任研修会 (リモート)	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8 月 24 日	キャリアアップ研修会	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
9 月 18 日	掛川小笠保育士会研究発表 (リモート)	3	掛川小笠保育士会
9 月 22 日	教材研究	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10 月 21 日	健康安全研究部 講座	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10 月 22 日	発達支援研究部 講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10 月 26 日	第 3 回 リズム表現と遊び	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11 月 10 日	健康安全研究部	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11 月 12 日	園経営研究部 研修会	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11 月 18 日	第 4 回 リズム表現と遊び	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11 月 25 日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
11 月 30 日	教材研究	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
2 月 17 日	保育所等給食関係者研修会 (リモート)	1	静岡県西部保健所

※ 研修会中止2回、リモート8回

②施設内研修

☆子育て支援部研修

歳児別研修会を（歳児別に各 1 回ずつ）行った。

中堅職員、新人職員研修を（年 2 回）行った。

☆会議

職員会議・園内研修（月 1 回）、リーダー研、職種別等の会議は随時行った。

法人施設長会議、法人園長会、副園長会、主幹会、栄養士による給食会議を行った。

☆城東学園

校長園長会、園務主任会、全体研修会

11) 実習生、ボランティア受け入れ

種 別	延人数	学 校 ・ 団 体 等
保育実習	25	常葉大学(1 人)、浜松未来総合専門学校 (1 人)
職場体験	6	大須賀中学校 (2 人)
計	31	

12) 地域交流・ボランティア

野球教室 (2 回) ジュビロサッカー教室、リズム遊び (2 回)、コンサート (1 回)、畑の耕作、草刈など地域のボランティアの皆さんのお力をお借りした。

令和3年度 おおさか子ども園拠点区分事業報告書

1 令和3年度の総括

開園して3年目となったが、今年度もコロナウイルス感染予防に努めながらの園運営であった。

8月後半に保護者1名のコロナ陽性が判明し、前日まで園に送迎しており、園児も濃厚接触者であることから3日間の休園措置をとった。園児が登園していた時間から濃厚接触者を特定し、職員を含む44人がPCR検査を受けることとなったが、園医である大貫医院の協力を得て、園の駐車場にてドライブスルー形式を取り、検査を受けた全員の陰性を確認することができた。また、3月には一ヶ月の間に園児6人、職員3人の合計9人がコロナ陽性となり、感染の拡大を心配し5日間のクラス閉鎖を行った。保護者、園児の感染が確認される度に室内消毒、園児の登園状況の把握など感染拡大を防ぐ対応に園全体で取り組んだ。コロナ関連での欠席者（陽性者、濃厚接触者）については、市に確認しながら、保育料の減免返金、給食費の返金をするなど、個別に対応する事務量が増加した。

昨年から取り組んでいる絵画指導や運動遊びは、職員が意識をもって遊びの中に積極的に取り入れ、子どもたちと一緒に楽しんだり、職員同士で指導方法について語り合ったり、園全体で取り組む姿勢がみられるようになった。新たに取り組んだ絵本活動については、5歳児が大東図書館に借りに行ったり、家庭では親子で読み聞かせをしたりと絵本に触れ合う時間が増えてきている。今後もこれらの活動を深め、職員で研修し合い、子どもたちと共に楽しみながら取り組んでいきたい。

昨年秋頃より ICT 化に取り組み始め、園の欠席連絡をはじめ、お便りの配信、家庭との連絡のやりとり、検温やアンケート集計等、様々な形で進めていった。保護者の評判も良く、経費削減、職員の業務改善ばかりでなく、コロナ対応にも大いに活かすことができた。

保護者対応については寄せられた意見に対して迅速な対応、反省と改善に努め、2月に実施した保護者アンケートでは全体の A、B 評価が 96%と高評価となり、園の運営に対し理解を得ることができたと感じている。「コロナ対応が良い」「コロナ禍でも工夫をしながら教育・保育を進めてくれる」また「職員の熱心さが伝わってくる」、「ICT 化を進めて便利になった」等、嬉しい声を聞くことができた。

園児数は300人定員の所、平均239.7人、平均入園率79.9%で前年度より約4%減少した。園児数は減ったが、節約・改善に努め、積立目標2,000万円に対して2,800万円を積立てて目標を達成することができた。園児の入園については地域に在住する子どもの数も減少しており、今後も急激な入園率向上は望めないが、ICT化を進め、業務改善等に取り組んでいきたい。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告 全体 (R3.4.1～R4.3.31)

定員300名 (1号75名、2号160名、3号65名)

歳児 月	0歳 児	1歳児	2歳児	3歳 児	1号	4歳 児	1号	5歳 児	1号	計	1号	定員割 合(%)
					2号		2号		2号		2.3号	
4	4	29	38	51	10 41	46	13 33	64	17 47	232	40 192	77.3
5	6	29	40	52	11 41	46	13 33	64	17 47	237	41 196	79.0
6	6	29	40	52	11 41	46	13 33	64	18 46	237	42 195	79.0
7	6	29	40	53	12 41	46	13 33	64	18 46	238	43 195	79.3
8	6	29	41	53	12 41	47	13 34	64	18 46	240	43 197	80.0
9	6	29	41	53	12 41	47	13 34	64	18 46	240	43 197	80.0
10	6	29	41	53	12	47	13	63	17	239	42	79.6

					41		44		46		197	
11	6	29	42	53	12	48	13	63	17	241	42	80. 3
					41		35		46		199	
12	6	29	42	53	12	49	14	63	17	242	43	80. 6
					41		35		46		199	
1	6	29	42	54	12	49	14	63	17	243	43	81. 0
					42		35		46		200	
2	6	29	42	54	12	49	14	63	17	243	43	81. 0
					42		35		46		200	
3	6	29	42	54	12	50	15	63	17	244	44	81. 3
					42		35		46		200	

2) 学級編成・職員数

(3月31日現在 人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援児	担任数
いちご	0 歳児	4	2	6			2
ばなな	1 歳児	4	8	12			2
みかん		13	4	17			2
めろん	2 歳児	10	8	18	1	1	3
もも1		7	5	12	1		2
もも2		5	7	12	1		2
ぱんだ	3 歳児	6	7	13	1		1
く ま		7	6	13	1		1
ぞ う		6	8	14	2		1
うさぎ		9	5	14	3		1
ひまわり	4 歳児	12	13	25	1		1
ば ら		12	13	25	2	1	1
に じ	5 歳児	11	10	21	2		1
そ ら		11	10	21	2		1
ひかり		12	9	21	2	1	1
給食業務							9
担 任 外							10
支援センター							2
計		129	115	244	19	3	45

(正規職員 24 人、非常勤職員 21 人)

3) 年間主要行事

コロナ感染防止のため、園の行事を中止、延期、また数回に分けて実施するなどして対応に努めた。

月	行 事 内 容	月	行 事 内 容
4	始業式	11	施設防災訓練
	入園式		七五三
	保護者会総会(書面評決)		収穫祭
5	こいのぼり集会		5 歳児座禅体験
	ジュビロサッカー教室	12	人権教室
6	収穫祭		芸術コンサート
	プール開き		親子しめ縄作り
7	七夕会		ぽかぽか発表会 (2 歳児、3 歳児)
	夏祭り		クリスマス会

	園評議員会	1	もちつき会
	個別面談（５歳児）	2	豆まき会
	民生委員児童委員懇話会		交通教室（５歳児）
8	個別面談（０歳児、１歳児、３歳児、４歳児）		園評議員会
9	始業式	3	ぼかぼか発表会（４歳児、５歳児）
	プール納め		ひな祭り会
10	個別面談（２歳児）		終業式
	運動会（３．４．５歳児）		卒園式

保護者の一日先生体験は年間を通して 12 回実施した。

4) 避難訓練

年間を通して、地震、火災、保護者参加の引き渡し訓練、炊き出し訓練等、あらゆる場合を想定して訓練を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	22	避難誘導訓練	地震火災発生	避難の仕方、避難場所を知る。 消火器の位置や取り扱い方法を確認する。(職員)
5	12	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	防災頭巾の被り方を覚える。 火災と地震の避難方法を知らせる。
6	16	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	避難方法、場所の確認をする。 消火器の使い方を確認する。
7	28	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	緊急速報を聞き落ち着いて避難する。 消火器の取扱いに慣れる。
8	16	避難誘導訓練	保育中(水遊び)、地震 発生後火災発生	水遊び中の避難の仕方を覚える。 園児への情報伝達、避難指示を知る。
9	24	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 火災発生	逃げ遅れ者の確認。 引き渡しについての確認。
10	8	避難誘導訓練	保育中、給食室から 火災発生	地震と火災の合図の違いがわかり避難する。 放送設備の取り扱い方法の確認。
11	2	施設防災訓練	自由遊び中、 地震発生後火災発生	避難誘導、炊き出し訓練。防災庫の点検。発電機 の取り扱い。救護訓練、消防署への通報訓練。
12	20	避難誘導訓練	保育中、地震発生後 給食室から火災発生	逃げ遅れ者の確認。 消火器の持ち出し訓練。
1	14	避難誘導訓練	自由遊び中、 給食室から火災発生	職員は連携をとり役割分担の徹底を図る。 自由遊び中の人数確認の徹底。
2	21	避難誘導訓練	保育中、 地震と火災発生	避難方法、避難経路人数把握など。 水消火器を使つての模擬消火訓練。
3	23	避難誘導訓練	自由遊び中 給食室から火災発生	合図、指示を理解し、敏速に行動する。 予告なしの実施訓練にも慌てず、臨機応変に行動 する。

5) 不審者防犯訓練

毎月 1 回防犯訓練を行う中で、園児の安全確保の方法や職員間の連携、役割等の検討改善に努めた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備 考
4	4/20	尿検査（一次）	4，５歳児	静岡県予防医学協会
5	5/6	尿検査（二次）	4，５歳児	静岡県予防医学協会
5・6	5/13, 5/25, 6/13, 6/9	内科検診	園児全員	大貫園医

6	6/15	歯科健診	園児全員	牧野園医
6・7	6/17, 7/5	職員検診	職員	笠南医療センター
10	10/7, 10/14, 10/21	内科検診	園児全員	大貫園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	10/14, 10/19, 10/21	インフルエンザ予防接種	職員	鷺山医院

*園児は毎月発育測定、職員は毎月保菌検査を実施した。(給食職員は月2回、ノロ年1回)

*4・5歳児はフッ素洗口を毎日実施した。

7) 訪問・教室

*茶道体験(5歳児)各クラス年2回。

*大東苑・くにやす苑・小笠の郷との交流はコロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は全て中止した。

8) 延長保育利用者数(7:00~7:29)

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	12.3	8	11.7	12	9.3
5	13.7	9	10.7	1	9.1
6	11.6	10	12.2	2	9.4
7	16.4	11	11.0	3	11.0

*年間延べ人数 2774名(一日平均 11.7名)

9) 給食(食育)

給食担当職員は、常に衛生面、健康面に留意しながら「意欲的に食べる子」を目標に安全でおいしい給食づくり、健康な体づくりに努めた。栄養士、調理員が毎月「栄養ランド」を開き、食物に関するクイズや話をわかりやすく伝え、その様子を掲示し保護者に紹介した。今年度はコロナウイルス感染拡大により、栄養ランドのやり方に工夫が必要であったが、対面でやることで園児一人一人の表情を感じ取ることができた。実際に野菜を育て収穫する食育活動は、収穫した野菜を給食の食材として使用することで食べ物に対する興味を育むことができた。また、給食室を見学することで、調理する姿をみせることができ、子どもたちの給食への関心が高まり、徐々に苦手な物も食べてみようとする姿勢がみられた。5歳児が給食に使われている食材を、赤・黄色・緑の食べ物(3色食品群)に分類ができるように献立表の書式を変更したことで子どもたちにもわかりやすく。食材の分類を楽しんで取り組む姿がみられた。近年危惧されている咀嚼力の低下に着目し、毎月「かみかみメニュー」を献立に組みこみ、園児たちの咀嚼力向上を目指したことで良く噛んで食べる姿につながった。

園で人気のレシピを給食だよりに掲載した。給食サンプルの展示をし、給食への関心を高めるよう努めた。年1回の嗜好調査では、家庭での食事状況の把握に努め、結果をおたより等で報告すると共に食育活動に反映させた。園児一人一人の身長、体重を成長曲線に記入し、個々の栄養管理に努め、栄養価の見直しにも反映させることができた。

アレルギー児対応、乳児の離乳食作りにも配慮し、園と家庭とで連絡を取りながら安全な給食提供を心掛けた。また、今年度は大幅に給食職員のメンバーに変更があったため、アレルギー児対応の方法も再確認・徹底をした。今後も子どもたちに食の大切さを伝えると共に、職員研修を通じて資質向上に努めていきたい。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月16日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月24日	掛川小笠保育士会総会 記念講演(リモート)	1	掛川小笠保育士会

5月6日	園長・校長研究部会	1	大浜学園
5月8日	かけがわ乳幼児未来学会記念講演(リモート)	23	未来学会
5月14日	園務・教務主任研究部会	1	大浜学園
5月17日	施設長研修会	1	静岡県保育連合会西部支部
5月18日	生徒指導研究部会	1	大浜学園
5月20日 21日	新規採用職員研修会(リモート)	2	静岡県保育連合会
5月20日	園小連絡会(中小学校)	1	中小学校
5月25日	静岡県保育士会総会及び研修会(リモート)	1	静岡県保育士会
5月26日	掛川小笠給食研修会(リモート)	1	掛川小笠保育士会
5月27日	保育をどうしよう未来会議(リモート)	1	ルクミー
6月9日	かけがわ乳幼児未来学会園務主任研修会(リモート)	1	未来学会
6月14日	第1回IT研修	1	私立幼稚園協会
6月16日	大浜学園全体研修会	7	大浜学園
6月16日	かけがわ乳幼児未来学会 健康安全研究部	1	未来学会
6月22日	園小連絡会(大坂小学校)	3	大坂小学校
6月24日	園務・教務主任研究部会	1	大浜学園
6月26日	かけかわ乳幼児教育未来学会 発達支援研究部	1	未来学会
6月29日	かけかわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部	2	未来学会
7月1日	接続研修会	1	学校教育課
7月6日	生徒指導研究部会	1	大浜学園
7月6日～8日	キャリアアップ研修 乳児保育	2	静岡県保育連合会
7月12日	園長・校長研究部会	1	大浜学園
7月20日	かけかわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部	2	未来学会
7月26日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
7月29日	遠州地区私立幼稚園協会 夏季研修(リモート)	13	私立幼稚園協会
7月30日	かけかわ乳幼児教育未来学会 発達支援研究部	2	未来学会
8月6日	かけかわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部	2	未来学会
8月24日	かけかわ乳幼児教育未来学会 教育研究部(リモート)	1	未来学会
8月24日	かけかわ乳幼児教育未来学会 園経営研究部	3	未来学会
9月13日～16日	支援者向けウェブ研修	1	静岡県東部発達支援センター
9月18日	掛川小笠保育士会研究発表(リモート)	2	掛川小笠保育士会
10月13日～15日	キャリアアップ研修 障害児保育	2	静岡県保育連合会
10月26日	かけかわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部	2	未来学会
11月11日～13日	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	3	静岡県保育連合会
11月10日	遠州地区私立幼稚園協会 秋季研修	4	私立幼稚園協会
11月10日	かけかわ乳幼児教育未来学会 健康安全研究部	1	未来学会
11月12日	かけかわ乳幼児教育未来学会 園経営研究部	1	未来学会
11月25日	保育士・保育教諭研修会(リモート)	1	静岡県保育士会
11月26日	かけかわ乳幼児教育未来学会 発達支援研究部(リモート)	3	未来学会
11月30日	かけかわ乳幼児教育未来学会 遊び研究部	1	未来学会
12月4日	人権講演会(リモート)	1	掛川市福祉協議会
12月13日	遠州地区私立幼稚園協会 IT研修会	1	私立幼稚園協会
2月8日	園小連絡会(大坂小学校)	4	大坂小学校
2月8日	保育士・保育教諭研修会「食育」(リモート)	1	静岡県保育士会

5月のかけがわ乳幼児教育未来学会、7月の遠州地区私立幼稚園協会の研修会はリモートで行い、多人数で受けることができた。

②施設内研修

月 日	研 修 名	職 種	人 数
5 月 31 日	中堅研修会	保育教諭	1
6 月 24 日	新人研修会	保育教諭	4
11 月 25 日	新人研修会	保育教諭	4
12 月 23 日	中堅研修会	保育教諭	1

＊子育て支援部歳児別部会

保育内容の充実と保育教諭の資質向上のため、各園で研修を行った。

＊園内公開保育

こども園内において、気になる子の追跡保育を行い教育・保育の充実に努めた。

＊定例職員会議

園内研修は月 1 回、リーダー・未満児・以上児・学年会議は随時行った。

法人園長会・副園長会・栄養士による給食会議は月 1 回、副主任会は随時行った。

大浜中学校区学園化構想研修会に参加し、園、幼、小、中の連携を図った。

かけがわ乳幼児教育未来学会研究部会会議に参加し研修を行った。

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等
保育実習	5 月・1 月・2 月	53	浜松学院短期大学（2 人） 常葉大学短期大学部（1 人） 東海こども専門学校（1 人） 浜松学院大学（1 人）
計		53	

12) 地域交流・ボランティア

今年度はコロナウイルス感染予防のため、地域との交流は中止・縮小、配慮しながら実施した。

種 別	期 日	参加人数（名）
野菜の苗植え	5 月 14 日	1 人
じゃがいも、玉ねぎ収穫	6 月 3 日	2 人
さつまいもつるさし	6 月 14 日	4 人
さつまいも掘り	11 月 15 日	4 人
玉ねぎ植え	12 月 6 日	2 人
しめ縄作り	12 月 18 日	13 人
じゃがいも植え	2 月 14 日	1 人
計		27 人

3 子育て支援センター事業

親子が気軽に利用して遊べる場、子育てをする親同士が知り合えるきっかけの場作りを目指して事業を進めてきた。今年度もコロナ感染対応として室内消毒を行い、利用者同士密にならないように配慮し感染防止に努めた。親子が利用しやすい対応や子育ての不安や悩み等を語り合ったりできる温かい雰囲気となるような環境作りを心掛け、触れ合い遊び、季節の遊び等、親子で楽しめるような内容を工夫し取り組んできた。

また、天気の良い日は支援センター横のワイーの森でのびのびと遊ぶことができ、笑顔で親子の触れ合いを楽しむ姿が見られた。

今後も地域の親子の支援の場、安心できる場として、親子に親しまれるよう新しい活動を取り入れながら支援を進めていきたい。

1) 活動内容

ホール開放、支援活動、園庭開放、絵本読み聞かせ、身体測定、電話・来園相談 等

月	支援活動内容	月	支援活動内容
4	誕生会、こいのぼり作り、母の日のプレゼント作り	10	誕生会、祖父母のプレゼント作り、ハロウィンごっこ
5	父の日のプレゼント作り、トイレトレーニングについての講座	11	親子交通教室、散歩バック作り
6	七夕飾り作り	12	誕生会、クリスマスの製作、クリスマス会
7	子育てフェア、水遊びの玩具作り、プール遊び	1	誕生会、お正月遊び、鬼のお面作り、豆まきごっこ
8	プール遊び、夏祭りごっこ	2	誕生会、おひな様作り
9		3	誕生会、思い出製作

開館時間 9:00～15:00（コロナ対策の室内消毒の為11:30～13:00は休み）

9月はコロナ感染対応により、休館となった。

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数（件）	月	利用者数（人）		相談件数（件）
	大人	子ども			大人	子ども	
4	86	105	2	10	73	92	2
5	81	98	3	11	69	85	2
6	114	132	3	12	66	83	2
7	99	122	2	1	49	61	2
8	21	26	1	2	65	81	3
9	5	8	2	3	45	52	3
合計					773	945	26

4 一時預かり幼稚園型事業

1号認定児を保護者の希望によって教育課程修了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	113	8	97	12	199
5	92	9	81	1	188
6	134	10	128	2	195
7	150	11	143	3	247
計					1767

5 一時預かり一般型事業

地域の未就園児を保護者の希望によって受け入れし、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	15	8	3	12	0
5	12	9	0	1	0
6	18	10	22	2	0
7	31	11	0	3	0
計					101

令和3年度 ちはまこども園拠点区分事業報告書

1 令和3年度の総括

令和2年4月に開園し、2年が過ぎた。今年度も新型コロナウイルス感染予防をしながら、行事や活動の見直しを行い、新しい生活様式を取り入れた安全な園生活の工夫に努めた。8月30日から9月末まで登園自粛期間があった。自粛した園児は34%だったが、市が利用料の減免をしたため、給付費の影響はなかった。自粛していた園児を考慮し、運動会や発表会などの日にちの変更を行った。中止した祖父母参観会の代わりに動画配信や、園児の様子を写真で掲示するなど、情報発信にも努めた。2月から3月の間、陽性者は園児2人、保護者4人であった。その都度室内消毒や職員の抗原検査を行い、通常保育を実施した。

保育面では、重点目標である「たんけんするちはまの子」の具体的な姿をめざし、探検（心が動く）⇒冒険（挑戦、達成感、協力）⇒安定（安心、安全）のサイクルがスムーズとなるよう心が動く環境や援助の工夫に努めた。2か所ある園庭や新しいプールで意欲的に遊びが展開できるよう動線を考えたり、熱中症対策を行ったりした。園舎内では、園児の絵の展示（わくわくギャラリー）や園児の作品を季節ごと廊下に展示することで、製作意欲を高めてきた。12月に実施した保護者アンケートの結果では、98%が園の取り組みに満足、やや満足しているという結果となり、園評議員による園関係者評価では、コロナ禍でも工夫しながら保育に取り組んでいるという高評価を得た。

運営面については、定員130人に対し109人と83.8%の入園率でのスタートとなったが、積極的に乳児の途中入園を受け入れ、8人の園児が入園したことにより、平均88.2%の入園率となり、大幅な収入増になった。今年度の積立金は2,800万円となり、目標を達成できた。

子育て支援センター事業については、新型コロナウイルス感染予防対応をしながら週3回の開放日とし、コロナ禍で出かける機会が少なく不安を抱えている地域の未就園児の親子の相談に乗ったり子育ての楽しさを伝えたりしながら、地域に開かれた子育て支援センターとなるように努めた。

2 事業内容報告

1) 園児数月別報告（R3.4.1～R4.3.31） 定員130名（1号45名、2号45名、3号40名）

歳 月	0歳 児	1歳 児	2歳 児	3歳児		4歳児		5歳児		計	定員割合 (%)
4	4	11	12	23	1号 6 2号 17	29	1号 12 2号 17	30	1号 14 2号 16	109	83.8
5	6	12	13	23	1号 6 2号 17	29	1号 12 2号 17	30	1号 14 2号 16	113	86.9
6	7	12	13	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	113	86.9
7	8	12	13	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	114	87.7
8	8	12	14	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	115	88.5
9	9	12	14	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	116	89.2
10	9	12	14	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	116	89.2
11	9	12	14	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	116	89.2
12	9	12	14	23	1号 6 2号 17	28	1号 10 2号 18	30	1号 14 2号 16	116	89.2

歳 月	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳児			4 歳児			5 歳児			計	定員割合 (%)
1	9	12	14	23	1 号	6	28	1 号	10	30	1 号	14	116	89.2
					2 号	17		2 号	18		2 号	16		
2	9	12	14	23	1 号	6	28	1 号	10	30	1 号	14	116	89.2
					2 号	17		2 号	18		2 号	16		
3	9	12	14	23	1 号	6	28	1 号	10	30	1 号	14	116	89.2
					2 号	17		2 号	18		2 号	16		
合計	96	143	163	276	1 号	72	33	1 号	124	36	1 号	168	1376	88.2
					2 号	204	8	2 号	214	0	2 号	192		

2) 学級編成・職員数

3 月 31 日現在 (人)

クラス	年 齢	男児	女児	計	外国人	要支援 児	職員
ひよこ	0 歳児	3	6	9	1		3
りす	1 歳児	4	8	12	1		3
うさぎ	2 歳児	9	5	14	1		3
ぱんだ	3 歳児	7	5	12	1		1
こあら	3 歳児	6	5	11			1
きりん	4 歳児	12	16	28	3	1	1
ぞう	5 歳児	14	16	30	2		1
給食業務							3
担任外							7
支援センター							2
計		61	60	121	9	1	25

正規 11 人
非常勤 13 人
嘱託職員 1 人

3) 年間主要行事

子どもたちの興味関心を高め、育ちにつながる大切な活動でもあるため、3密を避け、安全に実施できるよう考慮しながら取り組んだ。(誕生会や発表会は学年毎、参観会や運動会は人数制限をして実施。)

月	行事内容	月	行事内容
4	入園式 1 学期始業式	10	クラリアントどんぐり拾い さつま芋堀り 内科検診 運動会
5	玉葱収穫 サッカー教室 さつま芋の苗植え いちご摘み	11	参観会 4, 5 歳バス遠足 福祉施設防災訓練
6	歯科検診 ジャが芋堀り 家族参観会 園小交流会 民生委員・園評議員訪問	12	座禅体験 5 歳給食試食会 陶芸教室 クリスマス会 しめ縄飾り作り 2 学期終業式
7	七夕会 夏祭り 自由参観会 1 学期終業式	1	3 学期始業式 餅つき会 4, 5 歳発表会 園評議員会
8	すいか割り	2	豆まき会 交通安全教室
9	2 学期始業式	3	ひな祭り会 お別れ会 修了式 卒園式

4) 避難訓練 年間を通して13回(地震訓練9回、火災訓練3回、洪水訓練1回)を実施した。

月	日	訓練種別	災害状況想定	訓練目的及び内容
4	27	避難誘導訓練	保育中中度地震発生	地震の合図、避難方法を知る。
5	26	避難誘導訓練	保育中強度地震・津波発生	地震、津波発生で千浜小3階への避難方法を知る。
6	7	洪水誘導訓練	保育中洪水発生	洪水発生時の避難方法を知る。
7	16	避難誘導訓練	保育中強度の地震発生	地震、津波発生で千浜小への避難方法を確認する。
8	3	避難誘導訓練	水遊び中中度地震発生	水遊び中での避難方法を確認する。
9	7	総合防災訓練	保育中強度地震発生	保護者への引き渡し方法の確認をする。 防災庫の用品の確認をする。
10	5	避難誘導訓練	園外遊び中強度地震発生・津波発生	園外保育時の地震、津波発生時の千浜西防災センターへ避難方法を確認する。
11	2	総合防災訓練	社会福祉施設の防災訓練 (強度地震発生後、火災発生)	様々な訓練を行い、保育者自身の災害への意識を高めていく。(消火訓練・通報訓練・炊き出し訓練・救護訓練)
12	3	避難誘導訓練	昼寝後、給食室より火災発生	地震と火災の避難方法の違いを理解して行動する。
1	18	避難誘導訓練	午後のおやつ後中度地震発生(抜き打ち訓練)	抜き打ちでの訓練での対処方法を確認する。
2	4	避難誘導訓練	保育中強度の地震・津波発生(抜き打ち訓練)	抜き打ちでの訓練でも、落ち着いて行動する。
3	8	避難誘導訓練	保育中、給食室より火災発生(抜き打ち訓練)	避難、消火活動についての確認をし、職員の災害に対する危機意識を高めていく。

※千浜小学校との合同避難訓練、引き渡し訓練は中止。

5) 不審者防犯訓練

年間計画に基づき年間12回の防犯訓練を行い、園児に不審者への対応や安全確保の仕方について指導した。また、千浜駐在所の警察官の方に来て頂き、不審者に対しての話や実践訓練等、園児にわかりやすく指導をして頂いた。

6) 健康管理

月	実施日	検査内容	対象者	備考
4	20	尿検査	3.4.5歳児	静岡県予防医学協会
5	13・20	健康診断	園児全員	笠原園医
6	9・23	歯科検診	園児全員	安間園医
6	17・30	健康診断	職員	笠南医療センター
10	7・21	健康診断	園児全員	笠原園医
10	21	健康診断	園児全員	笠原園医
10		ストレスチェック	職員	静岡県予防医学協会
10	14・19・21	予防接種	職員	鷲山医院

*4.5歳児 フッ素洗口実施 *職員の保菌検査(給食担当者は月2回)毎月実施

7) 訪問・教室

茶道体験（5歳児）は年3回、体育教室（4,5歳児）は年間3回行った。

くにやす苑とは年6回（5歳児）コロナウイルス感染予防対応としてリモートでの交流を行った。

8) 延長保育利用者数（7：00～7：29）

月	一日平均(人)	月	一日平均(人)	月	一日平均(人)
4	6.80	8	9.80	12	7.60
5	8.75	9	9.60	1	8.40
6	7.00	10	10.20	2	8.60
7	8.60	11	9.60	3	8.60

※年間延べ人数 1761人 1日平均 8.6人

9) 給食（食育）

子どもたちが給食を楽しみの一つとし、生きる力のもととなるよう、安心安全な調理を心掛け、食材や衛生面にも注意しながら調理してきた。また、アレルギー児への除去食や乳児への離乳食等も、保護者と相談しながら進めることができた。

給食担当者がクラスへ出向いて子どもたちの食べる様子を見たり、担任に聞き取りをすることで個々の嗜好や適切な食事量を知り、健やかな成長に必要な栄養量の確保に努めた。

年2回、6月と11月の身体測定をもとに身体発育調査を行い、肥満ややせの判定をしながら、必要に応じて子どもと保護者に食生活の指導をした。

また、食材展示や栄養指導（もぐもぐ講座）、食育紙芝居の読み聞かせを行い、食材や栄養にも興味・関心を持たせ、食に対する意識を高めると共に食べる意欲を育て、さらに食事のマナー指導も行うことができた。畑で収穫した野菜や旬の食材は玄関に展示し、給食食材として使用し提供した。

保護者に対しては、毎日のサンプル食を展示し、アンケート調査、給食だより等を通して食の大切さを発信、また家庭ですぐ試せそうな給食メニューのレシピ集も発行した。

また、おおさかこども園、城東保育園との給食会議を毎月行い、情報交換、新メニューの検討を行い、食品衛生についても最新情報を確認し合った。

10) 主な職員研修

①施設外研修

月 日	研 修 名	人数	主催者
4月16日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
4月24日	掛川小笠保育士会総会、講演会 リモート	1	掛川小笠保育士会
5月8日	かけがわ乳幼児教育未来学会記念講演 リモート	7	かけがわ乳幼児教育未来学会
5月17日	県保育連合会西部支部施設長研 リモート	1	静岡県保育連合会西部支部
5月20・21日	新規採用職員研修会 リモート	2	静岡県保育連合会
5月25日	県保育士会総会及び研修会 リモート	1	静岡県保育士会
5月26日	掛川小笠保育士会給食研修会 リモート	1	掛川小笠保育士会
6月9日	かけがわ乳幼児教育未来学会教育研究部園務主任研	3	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月16日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月16日	大浜学園全体研修会	4	大浜学園
6月25日	県保育士会保育教諭研 リモート	1	静岡県保育士会
6月26日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
6月29日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部リズム表現と遊び	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月1日	小学校との接続研修会	1	掛川市こども希望課
7月6日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月6・7・8日	キャリアアップ研修会（乳児保育）	1	静岡県保育連合会

7月20日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部教材研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
7月26日	特別支援コーディネーター研修会	1	掛川市こども希望課
7月30日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月6日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
8月24日	かけがわ乳幼児教育未来学会園経営研究部講話リモート	2	かけがわ乳幼児教育未来学会
9月18日	掛川小笠保育士会講話リモート	6	掛川小笠保育士会
10月21日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月22日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
10月26日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部研修	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月10日	かけがわ乳幼児教育未来学会健康安全部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月12日	かけがわ乳幼児教育未来学会園経営研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月18日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月25日	保育士・保育教諭研修会	1	静岡県保育士会
11月26日	かけがわ乳幼児教育未来学会発達支援研究部講話	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
11月30日	かけがわ乳幼児教育未来学会遊び研究部教材研	1	かけがわ乳幼児教育未来学会
12月4日	人権教育研修会リモート	1	掛川市福祉協議会
12月12～22日	キャリアアップ研修会（乳児保育）リモート	1	静岡県保育連合会
2月17日	保育士・保育教諭研修会「食育」リモート	2	静岡県西部保健所

☆大浜学園研修

- ・園長校長研究部会、園務教務研究部会、生徒指導研究部会に年4回ずつ出席。
- ・全体研修会に4名参加。
- ・園小連絡会を年2回実施。

②施設内研修

☆子育て支援部研修

- ・歳児別部会を各園1回ずつ実施。
- ・新人部会、中堅部会を年2回実施。

☆法人会議

- ・施設長会議、園長会、副園長会、給食会議を毎月1回実施。

☆園内会議・研修

- ・園内研修 月1回実施
- ・職員会議 月1回実施。
- ・支援を要する園児のケース会議を年3回実施。
- ・掛川市こども希望部園訪問7月。

11) 実習生・ボランティア受け入れ

種 別	期 間	延べ人数	学校・団体等(実人数)
自主実習	8月 10月	4	浜松学院大学(1) 東海こども専門学校(1)
保育実習	5～6月 11月	20	常葉短期大学(2)
職業体験	10月	18	大浜中学校(6)
3年次職員研修	6～7月	2	大浜中学校(1)
	計	44	

12) 地域交流・ボランティア

種 別	期 間	延べ人数	団体等
絵本読み聞かせボランティア	6月～12月	18	わたぼうし

畑の先生	5月～2月	22	千浜地区の皆様
しめ縄飾り作り指導	12月	11	千浜地区の皆様
	計	53	

3 子育て支援センター事業

利用日が週3日となっており、地域の親子が中心に利用した。親子が遊べる場、子育て中の親同士が知り合えるきっかけづくりの場として、気軽に利用してもらえるように提案してきた。

今年度も新型コロナウイルス感染予防対策をして、一度の利用が5組以上にならないよう配慮して行った。

0歳児の利用も多く、離乳食への移行や子育ての相談に対応し、栄養士による離乳食相談も行った。子育ての不安や悩み等を語り合うことができる、温かい雰囲気となるよう環境作りを心掛けたり、製作遊びや、季節の遊び等、親子で楽しみながら子どもの成長を感じられるような内容を工夫し取り組んだ。

1) 活動内容

・センター開放日	毎週	火～木曜日	9時00分～15時00分
・支援活動	毎週	火～木曜日	10時00分～10時30分
・園庭開放	毎週	火～木曜日	10時30分～15時00分
・絵本読み聞かせ	毎週	水曜日	10時30分～
・身体測定	毎月	第2、第4火曜日	
・電話・来園相談	毎週	火～木曜日	9時00分～15時00分

月	内 容	月	内 容
4	こいのぼり作り ふれあい遊び 母の日のプレゼント作り	10	マラカスづくり 小麦粉粘土遊び ハロウィン飾り作り バック作り
5	園外散歩 小麦粉粘土遊び	11	手作りおもちゃ作り 園外散歩 親子運動遊び マラカスづくり
6	風船遊び 園外散歩 魚釣りゲーム 父の日のプレゼント作り スタンプ遊び	12	クリスマス製作（リース、帽子）
7	七夕飾り作り 色水遊び 魚づくり 水遊び	1	お正月遊び 手形スタンプ 鬼のお面作り 製作遊び
8	砂、水遊び 折り紙遊び 食育講座	2	足形スタンプ 風船遊び ひな飾り作り 母親講座
		3	小麦粉粘土遊び 園外散歩

2) 利用者数(延べ人数)及び相談件数

月	利用者数（人）		相談件数 （件）	月	利用者数（人）		相談件数 （件）
	大人	子ども			大人	子ども	
4	6	7	2	11	32	36	2
5	4	4	1	12	19	20	1
6	9	9	1	1	13	15	2
7	12	12	2	2	18	25	1
8	9	10	3	3	27	34	5
9	0	0	0				
10	26	30	2	合計	175	202	22

4 一時預かり幼稚園型事業

1 号認定児の保護者からの申請により、教育課程終了時以降、預かり保育を行った。

月	利用延べ人数	月	利用延べ人数	月	利用延べ人数
4	87	8	99	12	155
5	55	9	56	1	98
6	46	10	89	2	106
7	90	11	98	3	123
計 1,102 人					

令和3年度 大東苑及び障害福祉拠点区分 事業報告書

1. 令和3年度の総括について

施設運営理念を「笑顔と生きがいを与えられるケアをめざし、喜びや幸せを見いだす」と定め、安定した利益を生み出す体質の維持を目指した。「ほめる文化づくり」と「学習する組織づくり」を基本として、利益体質の強化、利用率の向上、職員の幸福を大切にする、の3項目について重点的に取り組んできた。

(1) 利益体質の強化

①生産性の向上

ア：記録ソフトの活用～R2.10介護記録ソフトを導入した。R4.3介護請求ソフトを見直し、記録と請求のソフトの一体化を図った。

イ：情報機器の活用～R4.3眠りSCAN導入（6台）、モニター用としてタブレットを併せて導入した。

ウ：小さな業務改善の積み重ね～業務時間が終了したら互いに声掛け合って帰宅しやすい環境に心を配った。

②経費削減

ア：省エネの取り組み～室温に応じた空調温度管理を徹底した。

イ：大量購入品のコストダウン～購入価格の比較検討を都度行なった。

ウ：業務委託費、保守料の見直し

エ：小さな経費削減の積み重ね～購入品に関して業者比較、検討の習慣化。

効果及び評価

記録ソフトの導入により、記録業務の効率化、円滑な情報共有が可能となった。今後、機能を十分生かしたより効果的な活用に向け検証していくことになる。年度末に情報機器を導入しているが、導入間もないため、介護の質の向上に向けた活用方法を研究していく必要がある。

（令和2年度 時間外 7.34H/月（1人平均） 令和3年度 時間外 5.57 H/月（1人平均））

経費削減について、当初は年間 4,500 千円の削減を目標としていた。省エネの取り組みにより電気、水道、ガス、灯油の各使用量はすべて前年比減（最大ガス使用量前年比 12.6%減）であるが、経費は増額している。委託契約等の見直しも行い、業務委託費支出、保守料支出は前年比 2%減としたが、施設、備品の老朽化に伴い、必要な修繕、リース契約による経費の増額（修繕費支出、賃借料支出前年比 20%増）により、結果として、事務費、事業費の合計は前年比 0.2%増となった。節約、削減による支出の抑制は基本的な取り組みとして継続されるところであるが、光熱費等単価の更なる上昇も見込まれるところである。引き続き効果的な取り組みを一つ一つ積み上げていくことになる。

(2) 利用率の向上

①個別ケアの充実した施設づくり

ア：個別ケア研究テーマの取り組みとQOL発表会での発表～各事業所で課題を設け、利用者の生活の質の向上を目指した取り組みとその成果を発表し（R4.2）、施設内で共有した。

②認知症の方にやさしい施設づくり

ア：認知症実践者研修への参加と施設内展開～令和3年度参加者1名。

効果及び評価

QOL発表会は平成 29 年より実施している。生活の質の向上という視点が定着し、実現に向けた実践が毎年度積み重なり、施設全体のケア充実に資するものとなっている。個別ケアの実践力の向上の反面、在宅サービスの利用率は目標に届かなかった。（ショート 64.8%、デイサービス 72.5%、なかよし 67.9%、ヘルパー78.2%）コロナ感染状況による影響もあろうが、良いサービスをたくさんの方に利用してもらうための展開が必要である。

新型コロナウイルスの影響により、デイサービスは2日間営業休止（2/4、/5）することとなった。（平均収入/日 36 万円程）営業休止の期間を含め1月～3月の期間は感染を心配しての利用自粛も重なり、利用率が大きく減少した。（4月～12月の平均利用率 75.52%、1～3月の平均利用率 34.93%） ショートステイにおいては利用中に利用者の陽性が判明したため、4日間の営業休止（2/25、/26、/27、/28）をした。（平均収入/日 10 万円程）ショートステイに関しては営業休止後も利用率の大きな変動なく、年間を通して利用率の変化は見られなかった。

(3) 職員の幸福を大切にする

①年休の取得増

ア：全員が年に1回、3日間連続休暇を取得できるように、業務の改善や職員配置の見直しをする。～各部署配置職員の調整

②やりがいを感じる働き方の追求

ア：副主任以上に承認スキルの習得、定期的な研修、学習内容の実践～会議において「介護とはなにか」（動画）を閲覧。職員指導の見直しの契機となった。

③人間力向上の為の自主勉強会

ア：自ら成長することが幸せと感じられる勉強会の実施～取り組み実績なし。

効果及び評価

令和3年度退職職員13名、採用職員8名、派遣職員契約9名。安定したサービスを提供するための職員確保、調整が優先的な取り組みとなった。年休取得については、新型コロナウイルス感染関連による休みも含まれるが、一人当たりの年休取得平均日数9.2日（同令和2年度8.3日）である。職員の、「やりがい」、「自己成長」に向けた取り組みは十分できなかった。

業務の効率化、ケアの質の向上を目指し、ソフトを導入したところである。導入目的達成に向けた活用が定着するために継続的な効果の検証が必要である。ケアの質の向上が利用者に選ばれる事業所につながるものであり、利用率の向上、維持に向けた取り組みの基本となる。職員のやりがいに係る取り組みについては、十分実施できなかったが、職員の意欲・意識がサービスの質を変える源であることを基本認識としていきたい。新型コロナウイルス感染対応に苦心する期間が続くが、利用者、家族、職員において、適切な情報の発信、伝達、共有の基本姿勢を継続し、事業所、職場としての信頼を深めたい。

各部署の取り組み

（特別養護老人ホーム大東苑）

令和3年度も前年度同様に相談員、ケアマネの2名で入所受け入れ対応を行い、現場でも居室準備を迅速に行うことで入所率98%以上を達成することができた。

利用者の生活面については、コロナ感染症対策を行いながら苑内で楽しめる行事を計画し、実施することができた。個別ケアの充実については、各ブロックの活動が上手く機能していなかったため、利用者の生活の質とケアの質の向上に向けた取り組みとしては不十分だった。令和4年度は、ブロック活動に力を入れていきたい。

安全面については、年末・年度末にかけて骨折等の重篤事故が5件起きてしまった。今後は、眠りスキャンなどの最新機器を使用していくとともに、事故対策の周知方法の改善とリスクマネジメントを的確に行うことで事故の防止に努めていかなければならない。

（大東ショートステイサービス）

令和3年度は前年度からの利用率低下が上半期まで続いた。集中的に関係事業所を訪問し、情報交換等に努め、新規契約・新規利用（長期の利用）や緊急利用の受け入れ等を積極的に行った。また、一歩ずつの取り組みにより、利用率は少しずつ上昇した。お菓子づくりや行事等の活動に力を入れた。令和4年度は「楽しみながらリハビリを行うショートステイ」として自信を持って情報発信をしていき、多くの利用者にサービスを提供したい。

利用者から居室の鍵について指摘を受け、改善を求められたが、職員間の情報共有が的確に行えていなかった為、迅速な対応をすることが出来なかった。連絡機能の活用、回覧等にて情報共有を徹底していく。一つ一つの課題に丁寧に向き合い、職員全員でショートステイサービスを磨きあっていきたい。

（大東デイサービスセンター）

機能訓練の充実を図るために自宅での体操や移動方法の指導を行い、「自宅で安心して生活が出来る」支援に取り組んだ。機能低下について早期に発見することが出来、ケアマネジャーと連携しながら対策について検討し、生活の質の維持に向けたきめ細かいケアを行った。令和3年11月より科学的介護推進体制加算の算定を行っており、令和4年度はフィードバックを活用し利用者の更なる機能向上につなげていきたい。利用者の対応について積極的な研修参加が出来なかったが、職員が趣向を凝らし、内容充実したレクリエーションの提供に努めた。

年度末の時期において、職員のコロナ感染により、利用者の減少や営業休止の期間があった。大幅な利用者数の減少となり、利用率にも影響がでてしまった。感染状況や感染予防対策に関し、こまめな情報発信を行い、感染の拡大を防ぐことができた。安心できるサービス、信頼できる事業所として、引き続き取り組んでいきたい。また、サービスの利用に向けた情報発信についても今まで同様力を入れ、月 2 回の利用情報の発信等により、新規獲得に努めたい。

来年度は介護請求ソフトが変更となる為、機能の活用により業務の効率化を図る。

認知症対応型デイサービスなかよしでは、利用者が不安なく穏やかに過ごせるよう支援を行った。関係事業所に向け利用情報を月 2 回発信し、情報の発信に努めたが、今年度の新規利用者は 2 名、デイサービスからの移行者が 2 名だった。新規利用者や登録者が減少していく状況に際して、利用回数の追加も検討したが、登録者減少の影響は大きく、利用率の低下となった。手厚い職員配置により、利用者に寄り添う関わりが出来る環境を活かし、ひとりひとりにとって適切なケアの提供に努め、デイサービスでの時間の充実を目指したい。デイサービス内において職員の協力体制を整え、利用状況に応じた効果的な職員配置によりサービスを提供することができた。

記録ソフトを導入したところである。全職員が機能を十分に活用していくことにより、業務の効率化を図りたい。

(掛川市南部大東地域包括支援センター)

令和3年度掛川市地域包括支援センター運営方針の重点目標は、「それぞれの圏域における地域課題を抽出し課題解決に向けた具体的な取り組みを実施する」であり、その目標に向け取り組んだ。具体的な活動として、地域ケア会議(個別)を全18回(虐待5回、認知症2回、困難事例5回、家族の疲弊・不満に関する事4回、疾病を持つ独居者の今後の支援2回)実施した。地域ケア会議(地域)は、「相談協力員懇話会」の中で全6回実施した。内容は「大東地区の虐待受付ケースの実情と課題、地域としてできる取り組みについて」をテーマに、民生委員、ふくしあ職員、圏域ケアマネージャーに参加してもらい、地域ごとの支援策を検討した。令和4年度も、各種関係者や関係機関とさらに連携を深め、課題解決を意識しながら地域ケア会議を実施していく。

総合相談支援は、2668件(来所513件、受信960件、発信638件、訪問557件)に対応した。引き続き高齢者福祉相談の窓口としての機能を強化していく。

介護予防ケアマネジメント業務においては、介護予防及び日常生活の自立支援を目的に「介護予防・生活支援サービス事業」や「一般介護予防」の啓発や利用促進を行った。

認知症に関する取り組みとしては、改正された「認知症ケアパス」の配布普及を50回実施した。認知症初期集中支援チームへのつながりを1回実施した。コロナ禍にて健康講話や認知症サポーター養成講座開催機会が少ない中、全4回(千浜西地区役員1回、労働金庫職員1回、法人新人職員1回、千浜小学校放課後児童クラブ1回)を実施し、認知症の理解や予防に努めた。また、月1回の「認知症カフェ」や「笑顔のつどい」への参加協力も行った。

「圏域ケアマネ交流会」については、コロナ禍にて ZOOM 開催にて1回実施した。次年度は、年4回程度実施していく。

(大東ヘルパーステーション及び障害福祉サービス)

年間を通しての利用率は、78.2%で、目標である 85%を達成できなかった。契約状況は、新規利用者と契約抹消の方がほぼ同数であった。要因としては、入所や看取りの新規利用者が増加し、短期間のサービス利用にて終了するケースが多かったことや、障害福祉サービスの新規利用者がいなかったことによる。

令和3年度は、職員一人ひとりが全ての利用者へ対応出来ることを目指した。取り組み内容として、ヘルパー会議の機会を活用し、情報の共有や技術向上のための研修を行った。外部研修へはあまり参加できなかった。サービス内容の確認や手順の見直しも行い、再度利用者全員の手順書を作成し、訪問時のスムーズな支援に繋げることができた。新型コロナウイルス感染対策を徹底し、職員間で対応方法についての話し合いを定期的に行ったことにより、陽性者はなく、サービス提供において大きなトラブルもなかった。

訪問合間のサービス提供のない時間については、他事業所(デイサービス・なかよし)への協力や事務ワークの時間とし、待機時間を効果的に活用し、残業時間も減らすことができた。訪問先には、ひとり暮らしや高齢者世帯、昼間は高齢者のみとなる世帯等、生活の維持に不安を抱える利用者が多い。日々の変化に気付く機会も多く、その場合は、速やかに他サービスと連絡を取り、関係者と情報共有し、適切な支援につなげることができた。

令和4年度は、他の居宅事業所や障害サービス事業者との連携を強化し、継続的な利用者確保に向け、

月 2 回利用状況等に関する内容について文書を配布する等、情報発信に努めていきたい。また職員の残業時間を減らす為、サービス利用が集中する時間帯(朝、夕)において、登録ヘルパーの募集・採用等人員体制の補強に取り組みたい。目標として、個々のスキルアップやコミュニケーション力、ケア品質の向上に繋がるよう、積極的にリモート研修等へも参加をしていく。

(大東居宅介護支援事業所)

令和3年度の新規契約は大東地域で31件 大須賀地域で1件、上内田地域で2件となった。令和4年度も南部大東包括支援センター、大須賀地域包括支援センター、中部地域包括支援センターと連携し、新規契約に繋がる活動を継続していく。4月から10月の利用実績は前年をやや下回ったものの、新規受け入れを積極的に行い、安定した利用率を維持することができた。10月に非常勤職員の退職に伴い、9名より8名の体制となった。人員体制の変更に応じ、利用者の振り分けを行い一人当たりの担当件数が増えた事と、介護ソフト変更に伴う業務により新規受け入れを控えた事、また冬季の契約終了者増加により、実績が落ち込んだ。令和4年度は新規受け入れを『断らない』を基本に戻していく。

ケアマネジメントの質の向上を図り、リモート研修に多く参加した。介護支援専門員更新研修2名、主任介護支援専門員研修1名受講した。

利用者、家族のアセスメントを詳細に行い、必要に応じて課題整理総括表を活用し、利用者の課題を適切に捉え、利用者、家族の気持ちに添ったケアプランの作成に努めた。特定事業所会議では事例検討の方法を見直し、課題解決に向けた検討を行った。また、各サービス事業所との情報共有を密に行い、可能な限り在宅生活が継続できるよう連携し、支援した。

2. 利用動向について

(1) 特別養護老人ホーム大東苑入所者実数月別報告 (定員 50 名)

月	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	1	2	16	19	12	50	100
5	1	2	16	19	12	50	96.6
6	1	2	16	17	12	48	93
7	1	2	16	18	12	49	96.8
8	1	2	15	19	13	50	99.6
9	1	2	16	19	13	51	98.9
10	1	2	15	19	15	52	98.2
11	1	2	15	19	13	50	99.7
12	1	2	17	19	12	51	98.1
1	1	2	18	18	11	50	98.3
2	1	4	17	16	12	50	99.5
3	1	4	16	17	13	51	99.2
合計	12	28	193	219	150	602	98.1

地区別入所者及び待機者状況 (令和 4 年 3 月 31 日時点)

地区	入所者	待機者	地区	入所者	待機者
掛川市	50	89	御前崎市	0	2
菊川市	0	13	県外	0	0
磐田市	0	0	計	50	106
牧之原市	0	2			

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4	0	0	50	10	3	2	50
5	0	6	44	11	0	1	49
6	4	0	48	12	2	3	48
7	1	0	49	1	2	1	49
8	1	0	50	2	1	0	50
9	1	2	49	3	1	1	50

(2) 大東ショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 14 名)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	7	47	73	69	19	11	226	53.6
5	0	13	55	92	55	30	11	256	59.3
6	4	16	43	83	45	30	11	236	56.4
7	4	8	41	92	42	23	8	218	50.0
8	4	11	63	117	70	34	8	307	70.7
9	4	11	61	92	89	13	14	284	67.9
10	4	11	60	99	75	15	12	277	63.6
11	4	21	80	84	95	13	17	314	75.0
12	2	11	96	85	138	13	19	362	83.6
1	6	10	75	67	136	11	10	315	72.9
2	3	9	59	42	94	14	0	221	56.4
3	2	11	67	37	152	25	3	297	68.6
合計	37	139	729	824	1015	238	117	3099	64.8

(3) 大東デイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 55 名)

月	事業 対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	32	26	127	349	302	138	57	9	1040	72.7
5	29	25	126	388	306	123	79	12	1088	76
6	31	27	142	389	306	89	91	13	1088	76
7	30	35	139	417	304	85	55	14	1079	72.5
8	29	33	115	393	307	106	60	12	1055	73.8
9	28	35	124	397	300	90	83	14	1071	74.7
10	25	31	120	428	346	99	61	14	1124	78.5
11	27	32	122	416	360	87	67	9	1120	78.2
12	22	31	136	418	355	53	83	9	1107	77.3
1	22	24	114	348	279	50	64	6	907	68.5
2	15	25	95	256	253	48	40	7	739	55.8
3	26	31	128	374	329	56	35	3	982	66.1
合計	316	355	1488	4573	3747	1024	775	122	12400	72.5

(4) デイサービスなかよし利用者延べ数月別報告 (定員 12 名)

月	要支援 1	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	0	36	57	75	0	0	168	63.6
5	0	0	34	49	82	0	0	165	63.3
6	0	0	40	32	84	0	17	173	69.2
7	0	0	33	54	103	0	18	208	75.0
8	0	0	40	52	99	0	18	209	79.2
9	0	0	39	46	89	0	16	190	75.0
10	0	0	12	51	101	13	17	194	73.3
11	0	0	11	50	103	13	11	188	71.1
12	0	0	12	49	97	11	0	169	66.6
1	0	0	23	45	92	2	0	162	67.5
2	0	0	20	28	78	0	0	126	58.3
3	0	0	25	22	95	0	0	142	53.3
合計	0	0	325	535	1098	39	97	2094	67.9

(5) 大東ヘルパーステーション利用者延べ数月別報告（介護保険ヘルパー）

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4	0	4	20	163	132	7	87	145	558
5	0	5	20	140	146	51	67	128	557
6	4	3	22	131	122	60	69	117	528
7	5	4	22	137	125	57	71	131	552
8	4	5	23	127	124	62	70	132	547
9	5	4	22	144	138	61	69	128	571
10	4	4	24	141	141	64	76	134	588
11	4	5	27	132	136	54	79	115	552
12	5	4	17	125	142	66	87	108	554
1	3	4	16	120	142	50	80	87	502
2	3	8	17	102	139	55	66	75	464
3	1	8	22	108	155	68	76	87	525
合計	38	58	252	1570	1642	655	896	1387	6498

(6) 障害福祉サービス事業利用者延べ数月別報告（障害者ヘルパー）

月	精神障害者	身体障害者	計
4	27	196	223
5	29	199	228
6	24	214	238
7	28	211	239
8	28	140	168
9	24	179	203
10	25	131	156
11	27	134	161
12	26	131	157
1	27	118	145
2	20	128	148
3	19	134	153
合計	304	1915	2219

(7) 大東居宅介護支援事業所プラン作成実件数月別報告

月	予防	要介護 1～2	要介護 3～5	予防 (0.5)	要介護計	総計	一人当たりの 件数
4	55	190	75	27.5	265	292.5	32.5
5	53	189	74	26.5	263	289.5	32.1
6	57	190	73	28.5	263	291.5	32.3
7	55	192	73	27.5	265	292.5	32.5
8	53	194	70	26.5	264	290.5	32.2
9	53	190	76	26.5	266	292.5	32.5
10	51	189	74	25.5	263	288.5	32.0
11	52	188	72	26.0	260	286.0	35.7
12	48	187	68	24.0	255	279.0	34.8
1	45	178	73	22.5	251	273.5	34.1
2	45	174	67	22.5	241	263.5	32.9
3	44	172	67	22.0	239	260.0	32.5
合計	611	2233	862	305.5	3095	3399.5	33.0

(8) 南部大東地域包括支援センタープラン作成実件数月別報告

月	包括直営		他事業所委託		計
	予防	総合事業	予防	総合事業	
4	4	13	50	24	91
5	4	15	50	24	93
6	5	13	53	25	96
7	5	13	52	24	94
8	4	15	49	24	92
9	4	15	48	25	92
10	4	14	46	25	89
11	6	16	48	24	94
12	6	15	52	23	96
1	6	15	50	21	92
2	8	17	50	21	96
3	12	16	47	21	96
合計	68	177	595	281	1121

3. 職員体制について

令和4年 3 月 31 日時点 人員体制

	特養	ショート	デイ (一般型)	デイ (認知症型)	包括	ヘルパー	居宅	合計	内産休 休職
総計	39	7	28	6	4	9	9	104	5
常勤	19	5	6	1	3	2	7	43	2
8 時間非常勤 (再雇用者含)	7	1	6	3	0	4	2	23	3
短時間等	15	1	16	2	1	3	0	38	0

4. 行事について

特養では、外出、交流の機会がなくなる中、楽しみ、喜びの時間を持つことができるよう、四季折々の行事や昔から続いている行事等を行った。

ショートステイにおいては、独自に計画を立て実施した。少人数で楽しめるよう工夫し好評だった。

デイサービスでは、在宅生活が継続できるよう機能の維持向上を目的として、歩行訓練、下肢筋力低下予防、生活リハビリを取り入れ、認知症進行予防の為に脳トレーニング等も行った。レクリエーションについては複数のプログラムを準備し、選択できる活動とした。全体での行事については、趣向を凝らし、季節色が出るよう工夫した。なかよしでは毎月おやつ作りを実施し、生活機能向上につながるよう支援した。

(1) 主な行事内容

月	特養	ショートステイ	デイサービス (毎月：習字、体力測定、誕生会) なかよし (毎月：おやつ作り、誕生会)
4 月		園芸活動、お化粧教室、おやつづくり	選択レク
5 月	新茶まつり	おやつづくり等	選択レク
6 月		梅ジュースづくり、工芸活動	ジャガイモ収穫、選択レク
7 月	七夕祭り	ボウリング、夕涼み、やみつき企画	選択レク
8 月	夏祭り	夏祭り	夏祭り、選択レク
9 月	敬老祝賀会	手作業、おやつづくり	敬老会、選択レク
10 月	100 歳誕生日	おやつづくり	運動会、選択レク
11 月	お楽しみ会(寿司会食、風船ゲーム)		選択レク
12 月	忘年会	クリスマス会	クリスマス・&忘年会、選択レク

1 月	新年祝賀会		新年会、選択レク
2 月		節分会	節分会、百寿誕生会、選択レク
3 月	お楽しみ会	ゲーム大会	選択レク

5. 防災計画・安全管理等について

防災委員会を中心に、防災マニュアルに基づいた消火・避難誘導訓練、災害対策本部の立ち上げ訓練を実施することができた。訓練を通して点呼の方法や避難誘導の方法について見直しが必要な箇所を把握することができた。また、非常口から屋外に避難する実践的な訓練や職員安否確認のためのメール送信を行うことができた。

くにやす苑災害時の入所者受け入れについても防災会議の中で積極的に話し合うことができた。大東デイサービスの運転職員に対して、くにやす苑から大東苑への避難ルートを周知することができた。災害後の施設サービスを継続していくことを目的とした訓練を十分実施することができなかった。今後は災害時の事業継続を想定した訓練(BCP に基づく)、新型コロナウイルス感染症に対するゾーニング訓練も取り入れていかなければならない。

(1) 主な防災訓練等

月	災害状況想定	訓練項目	訓練目的
4 月	地震後、北館より出火	避難誘導・通報訓練	利用者を安全に避難させる 消防署への通報方法を学ぶ
	風水害(くにやす苑)	くにやす苑受け入れ訓練	乗車場所とルート確認 対象：デイサービス運転手
5 月	地震後、北館より出火	避難誘導訓練	利用者を安全に避難させる(特養・デイ合同訓練)
		消火訓練(放水訓練)	非常時における消火器・消火栓の取扱を熟知する
6 月	地震後、北館より出火	避難誘導訓練	利用者を屋外にスロープを使って安全に避難させる(特養・デイ合同)
7 月	地震後、北館より出火	避難誘導訓練	夜勤者の対応と救援者との連携を図る
8 月	地震後、南館より出火	避難誘導訓練	利用者を安全に避難させる(特養&デイ合同訓練)
	土砂災害(大雨・地震)	避難誘導訓練	利用者を安全に避難させる(ショートステイ)
9 月	防災教育	演習	業者による防災設備の説明を聞き、使用方法を理解する。
10 月	震災後の本部設営、炊事	演習	テントの設営、充電器等資材の取り扱い、炊き出しと実食
	職員安否確認	情報伝達訓練	一斉メールにて職員の安否の確認と応援要請(確認のみ)
11 月	大地震想定	総合防災訓練	総合防災訓練(特養・デイ合同訓練、消防署への通報)
12 月	地震後、北館より出火	避難誘導訓練	利用者を安全に避難させる
	地域防災訓練不参加	地域連携	コロナ感染症対策の為不参加
1 月	北館より出火	避難誘導訓練	利用者を安全に避難させる(夜間想定)
2 月	南館より出火	避難誘導・通報訓練	利用者を安全に避難させる(デイ)
			消防署への通報方法を学ぶ(特養)
3 月	防災教育	座学講座	職員の防災意識の維持向上を図る(防災設備の説明)

6. ボランティアの状況について

実=実人数 延=累計延べ人数 団体（ ）=団体数												
月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
月	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

7. 健康管理について

利用者、職員の健康維持と疾病の早期発見につながるよう定期健康診断を実施した。また、インフルエンザ感染を防ぐため、予防接種を実施した。新型コロナワクチンについては積極的な接種を働きかけ、概ねの職員は3回目接種を終えている。ストレスチェックはデータ分析を始めてから3年目となる。データ分析上大きな問題は確認できないが、基本的には職員のセルフチェック、セルフケアとなり、職員の健康、職場環境の改善にどれだけ効果的に用いられるのか判断しにくい。

(1) 主な健康診断

	内 容	利用者	職 員
4月～5月	入所者定期健康診断	特養入所者	
6月～7月	職員定期健康診断		全職員
9月～10月	入所者定期健康診断	特養入所者	
11月～12月	インフルエンザ予防接種	特養入所者	全職員
1月	職員定期健康診断		夜勤従事職員
2月	ストレスチェック		全職員
定期、随時	嘱託医回診・歯科検診	特養入所者	

8. 定例会議等について

各事業所において定期的な会議を毎月開催する。また、目的別に各種委員会を設け、各事業所より担当者を選任し、職員で協議しながら大東苑全体の活動として取り組んでいる。

(1) 主な会議と委員会体制

	共通	特養ショート	デイサービス	ヘルパー	居宅	包括
主な 会議	経営調整会議 苦情処理委員会 ケア向上委員会 衛生委員会 給食委員会 感染対策委員会 防災委員会 (毎月) 交通安全委員会 地域交流委員会 (随時) 掛川市介護保険 事業者連絡会議 (年4回)	特養会議 特養業務会議 身体拘束委員会 看取り委員会 事故対策委員会 (毎月)	大東デイミ ーティング (毎月) なかよしミ ーティング (毎月)	ヘルパー会 議 (毎月)	特定事業所 会議 (毎週)	責任者会議 運営協議会 相談協力員懇話会 3職種専門職会議 認知症施策会議 認知症連絡会 地域ケア会議 資質向上検討委員会 ふくしあ調整会議 ふくしあ連絡会議 ふくしあケース会議 つなぐ会実行委員会

委員会名	活動内容
ケア向上委員会	ケアの向上を目的とした研究発表を企画・実施する。研究成果が各事業所、大東苑全体に定着する為の体制についても提案していく。
衛生委員会	職員の健康の維持、向上に向けた取り組みとして、健康診断、ストレスチェック等を実施。快適な職場環境の実現に向けての提案、及び情報提供を行う。
給食委員会	より豊かな食事の提供を目指し、委託業者も含め意見交換しながら、献立内容に限らず、食環境に関しての提案をしていく。
感染症対策委員会	大東苑の感染予防力を高め、衛生環境の継続的な維持を目指す。衛生研修会を企画する
防災委員会	防災訓練の実施及び防災教育等の計画を行う
交通安全委員会	運転に関する注意喚起を行い、年4回の交通安全運動への参加を企画する
地域交流委員会	地域貢献を目的とした活動の計画と実施。今年度クリーン作戦実施なし。
身体拘束委員会	(特養) 利用者の権利擁護を基本とし、適切な判断、必要な対応について検討する。
看取り委員会	(特養) 看取りケアにあたり、その人らしい暮らしを実現するためのケアを検討し、実践していく。
事故対策委員会	(特養) 事故発生状況を検証し、事故防止に向け今後必要な対応につき検討し、職員に適切に周知し、利用者のケア向上につながる取り組みをすすめる。

9. 主な職員研修について

施設内共通の研修では、ケア向上委員会が中心となり、介護技術のミニ Web 研修会を行った。研修で学んだことを各部署で話し合い実践した結果と職員の意識の向上が確認できる報告が多数上がってきた。また、事例研究発表会を実施し、特養・ショートステイ・ヘルパーでは個別ケアの向上に繋がる研究発表、デイサービスでは LIFE 導入に向けての発表があり職員のスキルアップに繋がるものであった。コロナ感染については、中東遠総合医療センターより訪問指導を受け、感染対応と BCP の見直しに役立てて貰えるよう報告書を各部署に配布した。令和3年度も前年度に引き続き、ZOOM 研修を主に活用し、外部研修への参加は少なかった。職員のスキルアップを図るため、引き続き質の高い研修の機会を増やしていく必要がある。

居宅については、特定事業所会議、ケース検討を定期的に行い、情報の共有、意見交換等職員のスキルアップに努めると共に、事業内の協同的体制の構築に努めた。包括支援センターは、市内包括共同の会議等に参加し、専門職としてのスキル向上を図った。

(1) 施設内研修実績

月	共通	特養ショート	デイサービス	ヘルパー
4 月		『排泄・入浴・食事』の今年度の目標を立てる	マニュアル見直し	接遇マナー研修
5 月		感染委員会:嘔吐処理手順	移乗技術研修	訪問日誌の書き方
6 月	衛生研修会 (新規・中途採用職員) Web 研修会	「看取りについて」	熱中症研修	食中毒について
7 月		事故対策委員会研修	感染対策 食中毒	福祉施設感染症対策について
8 月			栄養指導	コロナ感染対策・訪問時の注意点
9 月		防災研修 (防災設備の説明、AEDの使い方)	記録の書き方研修	リスクマネジメント
10 月		特養で必要な医学知識	接遇マナー研修	褥瘡予防について
11 月		QOL 委員会	個浴について研修	コロナ感染対策・必要な物品の検討
12 月		感染対策委員会	感染対策研修	高齢者虐待・身体拘束について
1 月			防災研修	排泄介助について
2 月			交通安全研修	認知症の方への支援
3 月		『排泄・入浴・食事』の今年度の目標を立てる	事故アシデント振り返り	リスクマネジメント・振り返り研修

(2) 外部研修実績

部署	職名	年月日	人数	主催者	研修内容
大東居宅	介護支援専門員	R3/4/12	3	静岡県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修
	副主任	R3/6/11	1	静岡県社会福祉協議会	コーチング研修
	介護支援専門員	R3/6/15	1	静岡県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修
	介護支援専門員	R3/6/16	2	白寿園	介護支援専門員研修会
	介護支援専門員	R3/8/20	5	白寿園研修センター	介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R3/8/21	1	静岡市ケアマネット協会	「適切なケアマネジメント手法」実践セミナー
	介護支援専門員	R3/9/3	1	静岡県介護支援専門員協会	介護支援専門員更新研修
	介護支援専門員	R3/9/3	1	静岡県公安委員会	安全運転管理者講習
	介護支援専門員	R3/9/16	1	静岡県介護保険課	静岡県主任介護支援専門員研修
	介護支援専門員	R3/10/20	2	白寿園研修センター	介護支援専門員生活相談員研修

	介護支援専門員	R3/11/19	7	日本教育クリエイト	zoom の使い方研修
	介護支援専門員	R3/11/26	5	介護支援専門員連絡協議会	介護支援専門員等のための災害時事業継続計画(BCP)
	副主任	R3/11/29	1	日本教育クリエイト	介護報酬改定から見える施設介護の今後
	介護支援専門員	R3/12/2	1	掛川地区安全運転管理協会	安全運転管理全体会議
	介護支援専門員	R3/12/16	1	白寿園研修センター	適切なケアマネジメント手法における家族支援
	介護支援専門員	R4/2/4	1	掛川地区安全運転管理協会	安全運転管理者等法定講習
	副主任	R4/2/7	1	社会福祉人材センター	介護現場における高齢者虐待の予防と対応
デイサービス	主任	R3/7/20	1	掛川市危機管理課	災害時応援協定締結事業所連絡会の開催について
	介護福祉士	R3/7/30	1	静岡県社会福祉協議会	認知症介護実践研修(実践者研修)
	介護福祉士	R3/10/26	1		中東遠地区職種別研究会
ヘルパー	副主任	R4/2/7	1	静岡県社会福祉協議会	介護現場における高齢者虐待の予防と対応
	訪問介護員	R4/2/8	1	SONPO リスクマネジメント	新型コロナウイルス感染症に対する福祉施設の為のリスクマネジメントセミナー
特養 ショート	介護職員	R3/4/21	3	静岡県倫理法人会	新入社員セミナー
	施設長	R3/6/15	1	静岡県老人福祉施設協議会	社会福祉法人【リガーレ】における法人連携の取り組み
	相談員、 看護職員	R3/7/15	2	静岡県老人福祉施設協議会	新型コロナウイルス感染症対策研修会
	相談員	R3/8/27	1	介護労働安定センター	LIFE の活用方法の実際
	相談員	R3/8/20	1	静岡県社会福祉人材センター	相談員のための支援力アップ講座
	相談員	R3/8/20	2	静岡県社会福祉人材センター	相談員のための支援力アップ講座
	施設長 主任 相談員 看護職員	R3/9/2	3	静岡県老人福祉施設協議会	新型コロナウイルス感染症対策研修会
	相談員	R3/9/22	1	静岡県社会福祉人材センター	権利擁護・成年後見セミナー(集合型研修)
	介護職員	R3/10/5	1	静岡県社会福祉人材センター	令和 3 年度 ターミナルケア～生き抜く人を見届ける～
	副主任、 介護職員	R3/10/5	3	医療法人財団 百葉の会	ターミナルケア～生き抜く人を見届ける～
	副主任	R3/10/21	1	静岡県公安委員会	副安全運転管理者講習
	副主任	R3/11/1	1	静岡県社会福祉人材センター	令和 3 年度人が育つ組織づくり講座
	栄養士	R3/11/17	1	静岡県給食協会掛川支部	栄養士研修会
	副主任	R3/11/19	1	日本教育クリエイト	Zoomの使い方研修
	施設長	R3/11/19	1	日本教育クリエイト	ZOOM の使い方研修
	施設長	R3/11/20	1	中東遠総合医療センター	中東遠総合医療センター 連携会議
	介護職員	R3/11/21	1	静岡県介護福祉士会	認知症介護実践研修(実践者研修)
	主任	R3/11/22	1	静岡県社会福祉人材センター	「ついついしたくなる」人を動かす仕掛学講座
	副主任	R3/11/29	1	日本教育クリエイト	人材育成研修
	介護職員	R3/12/16	1	静岡県社会福祉協議会	認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー
	相談員	R3/12/22	1	静岡県社会福祉人材	意思決定支援セミナー
	主任 ケアマネ	R3/12/22	2	静岡県社会福祉人材	意思決定支援セミナー
	介護職員	R4/1/9	1	静岡県介護福祉士会	ターミナル研修
	主任	R4/1/12	1	静岡県社会福祉人材	社会福祉施設・事業所のBCP(事業継続計画)実践編
	相談員 栄養士	R4/2/3	2	静岡県危険物安全連合会	危険物取扱者保安講習
	主任	R4/2/7	1	社会福祉協議会	介護現場における高齢者虐待の予防と対応
	主任 看護職員	R4/2/8	2	損害保険ジャパン	新型コロナウイルス感染症に対する福祉施設のためのリスクマネジメントセミナー
	副施設長	R4/2/8	1	全国社会福祉協議会	新型コロナウイルス感染症流行期における福祉施設の為のリスクマネジメントセミナー
	相談員	R4/2/16	1	白寿園研修センター	令和 3 年度第 6 回介護支援専門員/生活相

					談員研修
	ケアマネ	R4/2/22	1	沼津介護支援専門連絡協議会	施設ケアマネと実地指導
包括	包括3職種	R3/8/19	4	静岡県	静岡県介護予防ケアマネジメント新任研修(ZOOM)
	主任介護支援専門員	R3/8/27	1	静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会	管理者・現任職員研修(ZOOM)
	包括3職種	R3/9/2	3	掛川市長寿推進課	地域リハビリテーション研修会(ZOOM)
	包括3職種	R3/9/14	4	掛川市と5包括	5包括主催者研修(ZOOM)
	包括3職種	R3/10/15	3	介護支援専門員協議会	令和3年度医療連携部研修会(ZOOM)
	主任介護支援専門員	R3/11/1	1	静岡大学	多職種連携実践における学ぶ姿勢リフレクション研修
	主任介護支援専門員	R3/11/6	1	CSW 東部研究会	自然災害・現場の声から学ぶ CSW の視点
	社会福祉士	R3/11/18	1	認知症介護研究・研修大府センター	認知症地域支援推進員現任者研修
	社会福祉士	R3/11/19	1	認知症介護研究・研修大府センター	認知症地域支援推進員現任者研修
	主任介護支援専門員・保健師	R3/11/19	2	大東苑	ZOOM の使い方研修
	社会福祉士	R3/12/9	1	掛川市・袋井市	認知症施策会議
	包括3職種	R3/12/21	4	掛川市と5包括	南部地区包括主催者研修
	主任介護支援専門員	R4/2/5	1	CSW 静岡県東部研究会	CSW 静岡県東部研究会
	包括3職種	R4/2/8	4	大東包括	南部大東包括主催者研修

10. 給食業務について

コロナ禍で安全な給食提供ができるように、施設と委託業者相互の情報共有に努めた。感染予防対策に重点を置いたことにより、従来実施していた食を楽しむ行事は減少した。そのような状況のなか、楽しい食事の提供に向け委託業者と協議し、毎月のフェアメニューを設けた。より食事内容を充実させることができた。

おやつバイキングやケーキの切り分け等は感染拡大予防のため、個別盛り合わせに切り替えた。おやつの提供に当たっては、手作りおやつの日を設け、利用者の前でホットプレートを使用し、食材が焼ける匂いを楽しんで頂く等の工夫をした。

(1) 行事食の実施状況

月	行事	主な目的及び指導点等
4 月	開苑記念祝膳 赤飯、天ぷら、抹茶ババロア桜ホイップ乗せ 【フェアメニュー】 ハンバーグ等、よだれ鶏、魚介濃厚塩ラーメン	開苑を祝い、春を感じてもらう献立とする 人気メニューフェアとして、全国的に人気のあるメニュー2 種類と、特選麺として魚介のだしがきいた濃厚塩ラーメンを提供した。
5 月	子供の日 筍ご飯、ブリの梅照り焼き、苺ババロア 【フェアメニュー】 鶏肉のもろみ漬け焼き、塩麹豚のキムチビビンバ、みそ汁紀行(北海道、富山、栃木、愛知)、鯛だしラーメン	行事を楽しめる献立の提供をする 季節の変わり目で体調を崩しやすい5 月は、免疫力アップで注目されている発酵食品(もろみ、塩麹)を使用したメニューを提供した。 みそ汁紀行では1 道3 県の味噌を使用したみそ汁を1 週間提供した。
6 月	【フェアメニュー】 ご当地唐揚げフェア(沖縄シークワサー唐揚げ、京都しば漬け唐揚げ)、五穀と梅しご飯	雨期に入るため食中毒に注意してもらう 食欲が落ちる梅雨時期に食欲が出る献立を提供する 人気メニューのご当地唐揚げの中から、梅雨の時期でもさっぱりと食べられる2 種類を厳選して試供した。
7 月	七夕・土用の丑うなちらし 七夕そうめん 【フェアメニュー】 カレーフェア(バターチキンカレー、欧風デミグラスカレー)、とろり卵のゴーヤチャンプルー	夏バテ防止と食欲が出る献立とする スパイスや野菜の旨味が入ったカレーフェアを実施した。夏の定番ゴーヤを使用したチャンプルーもチーズ、豆腐、卵を使用して食べやすくしました。

8 月	納涼祭 おにぎり(鮭、おかか)、じゃがウインナー、たこ焼き、フルーツポンチ 【フェアメニュー】 6 種の彩り野菜ご飯、あなご天井、ピリ辛ゴマダレ冷やし中華	夏のお祭りの雰囲気を施設で味わい楽しんで頂く 納涼祭では、食べやすく、食欲が出るメニューを提供した。フェアメニューでは味ご飯、冷やし中華、丼等を提供した。
9 月	敬老会祝膳 赤飯、天ぷら盛り合わせ、苺ババロア 【フェアメニュー】 栗ご飯、南部鶏のマスタードポテト焼き、米粉でサクッとチキンソテー	敬老を祝い喜ばれる献立内容とし、食べやすさにも気を配る 敬老会メニューと、秋を感じる食材で栗ご飯、入所者様が食べやすい鶏肉を使った料理コンテスト入賞メニューを 2 品提供しました。
10 月	ハロウィン お月見丼、ハロウィンおぼけメンチカツ 【フェアメニュー】 ご当地ラーメンフェア(横浜たんめん、青森煮干しラーメン)、茸ご飯	秋の行事を反映した献立とし同時に感染症、衛生管理の啓発を行う 少し涼しくなってくる季節に、身体を温めるご当地ラーメンフェアを実施した。横浜、青森のさっぱりして食べやすいラーメンを提供した。
11 月	勤労感謝の日 鮭ちらし寿司 【フェアメニュー】 香る和食フェア(柑橘香るおろしとんかつ、海老香る鶏の玉子あんかけ丼)	食欲の秋となるような食材で献立を作成する 11 月 24 日の和食の日にちなみ和食フェアを開催した。人気の和食に香を加えて食欲をそそる 1 品へアレンジしました。
12 月	クリスマス、年越しそば バターライス、Xmas チキンシチュー 【フェアメニュー】 貝柱ご飯、野菜いっぱい台湾風まぜめし、ズワイガニクリームコロッケ	年末行事を考慮した食事を提供し、寒さに負けない温かい献立を提供するイベントが多い 12 月は、わくわく感、季節感を楽しめる献立を心掛けた。
1 月	お正月、新年会 お赤飯、おせち御膳、お雑煮、かにちらし、甘酒、七草粥 【フェアメニュー】 鶏肉のガーリックソース煮、ほうとう風きしめん、トマトチーズ大豆ハンバーグ	新年を祝いお正月らしい献立とし、一年の始まりを意識する。 お正月献立の他、身体が温まるメニューや、サステナブルフードである大豆ミートを使用したメニュー等を提供した。
2 月	節分会、バレンタイン 【フェアメニュー】 台湾風唐揚げ、薬味のせそばろご飯、胡麻味噌ラーメン、スモークサーモン	行事(節分)を通し、春の訪れを徐々に感じてもらう 節分や、バレンタインを意識し、食欲のそそるメニューを提供した。
3 月	ひな祭り、お楽しみ会 鮭ちらし寿司、ひな祭りゼリー 【フェアメニュー】 桜うどん、あまに鶏の焼き鳥三食丼、黄金カレイの黒酢あんかけ	目で見えて楽しめる食事の提供をし、楽しい雰囲気です食事を頂く 春を意識し、東日本大震災のあった東北応援フェアとして、岩手県産のあまに鶏を使用した丼を提供した。

11. 地域との交流について

今年度、ボランティア団体等の訪問の受け入れは中止している。地域との関わる活動としては、地域包括支援センターによる出前講座の開催(4回/年)にとどまる。地域と施設、利用者と家族の関係は、新型コロナウイルス感染状況に大きく影響を受けており、利用者の生活の質を考える上での懸念も大きい。

令和3年度 くにやす苑拠点区分事業報告書

1 令和3年度の総括について

令和3年度は、引き続きコロナ禍でも「安心、安全、安定した施設運営とその人らしい日常生活の実現」を目標に事業運営を行った。

個別ケア、ユニットケアの推進として、コロナ禍で自由に外出できない利用者の生活の質の向上のため、季節感のある行事を行い、認知症等の症状で出歩いてしまう利用者と散歩を行うなど、利用者に寄り添うケアに努めた。在宅サービスの利用向上対策として、コグニバイクを導入し、機能訓練の見える化とデュアルタスク作業による機能維持を図った。また、短期集中C型サービスを開始し、介護保険前の利用者獲得に努めた。防災対策面では、まず水災対策として、大雨予報が出た時には積極的に止水板設置訓練を実施し、ほぼ全員の職員が設置を体験出来るようにした。管理監督者の指示で誰もが水害発生の事前対策ができるよう訓練が出来た。また、原子力防護施設補助金の申請を検討し、掛川市と協議を行ったが、今年度は見送りとし、次年度以降の継続協議となった。事故防止対策として、安全な移乗のできる移乗補助機器 Hug の導入、同じく移乗補助機器 サスケの検討、介護ロボット補助金を活用したベッドの入替を行い、業務省力化と事故の減少に努めた。節電対策として、ユニット内の電灯点灯時間の設定、ガス給湯器の一部小型化、居室エアコン更新工事等を行うなどしたことで電気使用量を前年より 65,979kwh 削減することができた。また、デイ給湯配管修理も 3,811 m³の水道使用量の通減に貢献できたが、年度後半からの燃料費高騰により、大幅な光熱水費の削減とはならなかった。人材育成対策として、介護福祉士や介護支援専門員の資格取得を奨励し、1名の合格者を輩出した。また、前年度から導入している介護記録ソフトにより、職員間の連携や情報共有が密になり、お互いの介護技術の研鑽と理解が深まっている。

特養の入所状況については、年間退所者が 32 名となり、例年の平均退所者数 21 名程度と比べ 10 名以上増えたこと、病院への延べ入院日数が 258 日だったこと等により、年間利用率が 96.8%と目標の 98%に達することができなかった。ショートステイの利用状況については、コロナウイルスによるキャンセル等により、57.0%と目標の 65%を達成することができなかった。デイサービスの利用状況については、4 月後半から 5 月前半にコロナによる営業停止の影響を受けた。結果、4 月 24 日から 28 日の営業停止期間における利用中止者が 103 名、営業再開後 4 月 29 日以降 8 営業日間における利用中止者が 54 名、計 157 名 150 万円超の利益損害を受けた。その後、徐々に新規利用者の受入れも増加し、10 月～1 月までは 80%を超えることができたが、1 月以降利用者の施設入所等により、年間平均では 79.9%と目標の 80%に僅かに達することができなかった。年度前半のデイサービスの利用上昇、介護処遇改善補助金等のプラス材料もあったが、特養の日常生活継続支援加算が取得できなかったこと、2 月以降の特養退所者の増加、在宅部下降等の影響を受け、予算額に達しなかった。支出は、人員体制の見直しや設備修繕、節電等により予算額内に収めることができた。結果として事業活動における経常増減差額は約 6,600 千円となった。

(特別養護老人ホームくにやす苑)

今年度は、「その人らしい」生活を援助するため、入居者の暮らし（生活歴、趣味、嗜好など）を理解し、個別ケアのサービスの質の向上を目指し、介護サービスを行ってきた。

運営面では、風習や季節感を重視し、夏は花火大会、冬はクリスマスケーキコンテストや焼き芋大会を新たに取り入れるなど、ご利用者の余暇活動を増やすことができた。また、普段の暮らしの中でも出前を取ったり、お花見、散歩の付き添い歩き、芋汁会を行ったり等と日常的に利用者の要望を取り込むこともできた。またリーダー会議で各ユニットの取り組みを発表し、それぞれの良いところを取り入れるよう職員間の情報共有を強化した。そうした取り組み状況を写真付きの文書で毎月家族へ送付し、ガラス越し面会だけでは伝わらない施設の様子をお伝えした。設備面では、業者の都合で繰り越しとなっていた地域交流ホール天井修理が完了し、通常の利用が可能となった。また、介護ロボット、陰圧装置の補助金等を活用し、事故防止やコロナウイルスのまん延防止措置等に対応できるよう準備した。あわせて、腰痛対策として移乗用器具の検討を行い、株式会社 FUJI 社製の Hug をリースで採用した。老朽化しているナースコールや照明器具の LED 化、施設全体の Wi-Fi 工事については、次年度以降の課題として残っている。

(くにやすショートステイサービス)

今年度の目標である「また泊まりたくなるショートステイサービス」を念頭に感染対策へ重点を置きながらサービス提供を行った。

運営面では、ウエルカムドリンクの継続や、季節感のあるお風呂の提供、毎月のおやつ作りを充実させるなど、イベントに力を入れて集客に努め、事前に各居宅介護支援事業所に月2回の情報を発信した。結果として新規利用者を64名獲得できたが、家族の外出自粛やコロナによる利用控え等に影響を受け利用率の増には直結しなかった。設備面では、星の宿ユニットのエアコンの入替を行い、環境の整備と節電対策を行った。あわせて、次年度に向けてパラマウンドベッド社製の眠りSCANを試験導入し、利用者の睡眠状況の把握や家庭への生活状況のフィードバックが可能か検証を始めた。

(くにやすデイサービスセンター)

今年度は、コロナ禍における感染対策と、リハビリコーナーの充実、設備の老朽化対策等を中心にサービス利用率を80%台まで戻すことを目標に介護に取り組んだ。

運営面では、4月に家族で陽性者の出た利用者への対応として、即日の消毒、関わった職員への抗原検査、翌日からのサービスの中止措置等、感染拡大防止に努めた。その後、安全性を確認した上でサービスを再開したが、厨房業者からの昼食手配ができず、外部のお弁当サービスを4日間利用することとなった。利用状況は、徐々に回復し、各居宅介護支援事業所に月2回の空き情報を発信したことも功を奏し、年間の半分は80%を超える月間利用率となった。設備面では、コグニバイクの導入やリハビリスペースを模様替えしたことで利用者の機能訓練意識が高まり利用者の機能維持に繋がられた。また、前年度から繰り越されていた給排水設備配管の修理が完了し、水道使用量の抑制ができた。あわせて、開設時より使っていた送迎車両を2台入れ替え、ドライブレコーダーを設置するなど送迎車両設備の安全性を高めた。

2 利用動向について

1) 特別養護老人ホームくにやす苑入所者延べ人数月別報告 (定員 80 名)

月	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	利用率
4	60	180	720	747	654	2,361	98.4%
5	62	186	777	715	667	2,407	97.1%
6	60	210	779	690	611	2,350	97.9%
7	62	175	826	717	618	2,398	96.7%
8	93	186	868	654	605	2,406	97.0%
9	90	180	863	642	591	2,366	98.6%
10	93	186	871	701	589	2,440	98.4%
11	90	161	812	633	582	2,278	94.9%
12	93	189	867	643	608	2,400	96.8%
1	74	217	873	642	531	2,337	94.2%
2	79	196	857	586	439	2,157	96.3%
3	62	155	982	657	500	2,356	95.0%
合計	918	2,221	10,095	8,027	6,995	28,256	96.8%

地区別入所者及び待機者状況 (令和4年3月31日時点)

	入所者	待機者
掛川市	62	44
菊川市	7	10
袋井市	1	0
御前崎市	9	10
牧之原市	0	2
浜松市	0	1
藤枝市	0	1
静岡市	0	1
県外	0	0
その他	0	0
計	79	69

年間入退所状況

月	入所者数	退所者数	月末在苑数	月	入所者数	退所者数	月末在苑数
4月	2	2	79	10月	2	2	79
5月	2	2	79	11月	3	4	77
6月	1	2	78	12月	2	1	78
7月	2	3	77	1月	4	4	78
8月	4	1	80	2月	3	6	75
9月	1	3	78	3月	6	2	79

2) くにやすショートステイサービス利用者延べ数月別報告 (定員 20 名)

月	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	0	0	38	87	133	78	17	353	58.8%
5	0	0	37	95	155	76	22	385	62.1%
6	0	0	31	107	142	48	29	357	59.5%
7	0	0	42	104	137	49	24	356	57.4%
8	0	3	38	122	120	55	16	354	57.1%
9	0	0	29	132	117	30	12	320	53.3%
10	0	0	58	106	137	29	15	345	55.6%
11	0	3	43	132	144	47	15	384	64.0%
12	0	0	47	123	94	49	14	327	52.7%
1	0	0	81	126	94	52	23	376	60.6%
2	0	0	48	99	72	32	14	265	47.3%
3	0	0	71	146	75	32	14	338	54.5%
合計	0	6	563	1,379	1,420	577	215	4,160	57.0%

3) くにやすデイサービスセンター利用者延べ数月別報告 (定員 30 名)

月	事業対象	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	利用率
4	17	3	9	94	170	133	38	15	479	72.6%
5	18	4	17	106	229	159	47	13	593	76.0%
6	18	54	17	133	245	151	38	18	625	80.1%
7	11	5	15	147	205	147	41	14	625	77.2%
8	17	3	18	145	203	184	36	17	625	80.1%
9	14	4	8	141	188	190	35	17	596	79.5%
10	12	4	8	174	214	202	41	17	672	86.2%
11	10	4	7	191	234	166	41	19	672	86.2%
12	13	4	7	191	221	154	37	19	646	82.8%
1	10	2	7	169	187	13	69	15	592	82.2%
2	15	7	7	173	179	105	66	19	571	79.3%
3	18	7	9	172	201	126	69	17	619	76.4%
合計	183	52	129	1,836	2,476	1,881	558	200	7,315	79.9%

3 職員体制について

各ユニットについては、常勤介護職員と 8 時間非常勤介護職員あわせて 4 名の体制を基本とし、夜勤明けでの残業削減に努めた。しかし、年末以降職員の体調不良者等が連続し、派遣職員等で補充をしたが、ローテーションを埋めるための時間外勤務が増大し、前年度よりも時間外勤務が増えた。また、次年度のメンテナンス業務見直しのため、施設内を循環する自動掃除ロボットを導入し、作業分担の見直しを試行した。

1) 職員配置状況

	特養	ショート	デイ	合計	うち育休産休病欠
総計	66	12	20	98	4
常勤	34	5	3	40	1
常勤 6H	0	0	0	0	0
8 時間非常勤 (再雇用含)	10	2	5	18	3
短時間等	22	5	12	40	0

※令和 4 年 3 月末日時点、資格：介護福祉士 55 名、社会福祉士 3 名、介護支援専門員 10 名（出産・育児休業・病欠計 4 名宿直 8 名を含む）

4 行事報告について

今年度もコロナ禍にあり、部署、ユニットまたはフロア単位で余暇活動、誕生会、夏祭りを行った。外出については、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言等もあり、外出は控えることとなった。その代わりに施設内での行事を充実させた。毎月の喫茶ひまわりでは手作りおやつを心掛けるなど、季節感のある行事を施設内で実施した。

1) 主な行事実績

月	行事	内 容
8 月	夏祭り	特養では、今年度も夏祭り委員会を中心に準備を行い、感染症対策として密にならないよう、また全ユニットが一度に集まらないようにした。出店や職員による余興等で入所者・職員が楽しい時間を過ごすことができた。
8 月	花火大会	消防署へ火器を使用する旨の申し出をし、安全に配慮し行った。夕飯後だったため、半数程度の参加ではあったが、花火の光で盛り上がることができた。
9 月	敬老会	フロア単位で集まり交流ホールにて行った。市からのお祝い品等の受け渡しも行った。
11 月	餅つき大会	交流ホールで餅つきのデモンストレーションを行い、杵を持つての記念写真も撮影した。その後、各ユニットでお餅を振舞った。
12 月	ケーキコンテスト	クリスマスに因んでケーキのデコレーションコンテストを行い、各ユニットでの出来栄を競った後、利用者に提供し好評を得た。
1 月	新年のあいさつ	新年のあいさつをしながら、各ユニットに甘酒を配布した。
2 月	焼き芋大会	近隣の方や職員から頂いたサツマイモを活用し、玄関前で焼き芋を行った。消防署へ火器を使用する旨の申し出をし、安全に配慮し行った。
随時	季節の行事	節分・ひな祭り・端午の節句・七夕・お月見・クリスマス等
随時	誕生会	各ユニットでゲームを行う等の企画をし、誕生者をお祝いした。
随時	余暇活動	お花見ドライブをフロア単位で行った
毎週月曜日	ほのぼのの広場	午前 10 時から 1 時間特養玄関やユニットフロアに集まり、リハビリ体操・歌・ゲーム等を実施した。恒例の行事になり、職員も交替で参加することができた。
毎月第 1・2 火曜日	喫茶ひまわり	毎月第 1・2 火曜日に茶屋にて喫茶店を開店した。季節の手作りおやつ・飲み物等を提供し、会話を楽しみながらゆっくりとした時間を過ごした。

5 防災訓練について

今年度も継続的に防災訓練を実施し、令和 2 年度に完成した水害対策用の止水板設置訓練も取り入れるようにした。訓練の積み重ねにより、職員の避難誘導の動きは良くなっているが、訓練が形骸化しないよう電気設備の停電点検時にどのような不便さがあるのかの実証体験を行うようにした。また、3 月に行われる予定であった掛川市津波避難訓練は中止となったが、施設独自の津波避難訓練は実施し、大東苑までの避難経路の確認を行った。

1) 防災訓練実施状況

月	訓練種別	目的・内容
5. 7	地震 津波避難訓練（花・森）	避難塔の活用訓練
5.10	地震 津波避難訓練（デイサービス）	避難車両の活用訓練
5.14	地震 津波避難訓練（海・そら・風）	避難塔の活用訓練
5.28	津波避難訓練（ショートステイ）	避難車両の活用訓練
6. 2	地震 津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難塔の活用訓練
6. 4	夜間想定津波避難訓練（森・花）	夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練
6.17	夜間想定津波避難訓練（大地・月・太陽）	夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練
6.24	地震津波避難訓練（デイサービス）	避難経路の確保
6.25	夜間想定津波避難訓練（ショート）	夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練
7. 1	夜間想定津波避難訓練（海・そら・風）	夜間の職員・宿直体制を想定した避難訓練
各会議時	災害対策机上訓練 ユニット会議時実施 （特養8ユニット・ショート）	避難マニュアルの理解・避難ルート・避難生活の協議（地震・避難・避難生活）
7.16	情報伝達訓練	苑から半径5km圏内の職員招集、伝達訓練
7.30	消火器訓練	避難マニュアル・経路・初期消火の手順確認
8. 6	風水害訓練（花・森）	風水害マニュアル確認
8.13	風水害訓練（海・そら・風）	風水害マニュアル確認
8.19	風水害訓練（大地・月・太陽）	風水害マニュアル確認
9. 3	総合防災訓練	消火器使用と広域災害想定した避難所設営
9.22、27	止水版設置訓練	水害等の恐れのある時、事前に止水版設置を行う
9.30	風水害訓練（ショート）	風水害マニュアル確認
10. 1	地震津波避難訓練（森・花）	避難塔活用訓練
10. 6	地震津波避難訓練（ショート）	避難等活用訓練
10.14	夜間津波避難訓練（大地・月・太陽）	避難塔活用訓練
10.16	地震津波次男訓練（海そら風）	避難等活用訓練
11. 2	火災想定防災訓練	火災想定と避難誘導
11. 5	福祉施設防災の日 総合防災訓練	火災想定と避難誘導・指令センターへ通報
11.12	情報伝達訓練	一斉メール伝達返信訓練
12. 3	火災対応訓練（森・花）	火災時の対応と避難誘導訓練
12.10	火災対応訓練（海・そら・風）	火災時の対応と避難誘導訓練
12.16	火災対応訓練（大地・月・太陽）	火災時の対応と避難誘導訓練
12.24	火災対応訓練（ショート）	火災時の対応と避難誘導訓練
1/10～15	防災研修	DVD 視聴研修
2. 4	夜間火災想定時対応訓練（森・花）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.11	夜間火災想定時対応訓練（海・そら・風）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.17	夜間火災想定時対応訓練（大地・月・太陽）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
2.25	夜間想定津波避難訓練（ショートステイ）	夜間警報作動時通報と非火災時の復旧
3. 5	津波避難訓練	インカムを活用した避難車両訓練、防災倉庫の掃除・物品確認

6 ボランティアの状況について

新型コロナウイルス感染対策を十分行った上で、福祉体験、民生委員、地元ボランティア、赤十字奉仕団等の各ボランティアを受け入れた。

月	4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1
団体	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	7(2)	7(2)	0(0)	7(2)	0(0)	7(2)	0(0)	7(2)
月	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月		3 月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
団体	2(1)	9(3)	7(1)	16(4)	0(0)	16(4)	0(0)	16(4)	0(0)	16(4)	0(0)	16(4)

実＝実人数 延＝延べ人数 団体（ ）＝団体数 注）草刈り除く

7 健康管理について

入所者の定期的な健康診断・職員の健康診断等については、計画に基づいて実施することができた。職員について、健康診断後の要再検・要精密の指摘者は昨年度と比較して減少となった。嘱託医については、菅沼和人医師（内科）に入所者全員を担当して頂く体制を継続した。事故等による通院件数は前年度と比較して同程度となったが、ご利用者本人が抱えていた持病等による病院への入院者は増大した。

また、菅沼和人医師の指導の下、あおばケアガーデンや法人内各老人施設と連携を取り、新型コロナウイルスワクチンの予防接種を3回目まで施設内で行うことができた。あわせて当施設の入所者については、コロナウイルスの感染者を出すことはなかった。

1) 入所者の健康管理について

- ①胸部レントゲン 令和3年4月に実施(年1回)
- ②採血 令和3年4月・令和3年10月に実施(年2回)
- ③検尿 令和3年4月・10月に実施(年2回)
- ④歯科検診 令和3年5～6月に4回に分けて実施
- ⑤インフルエンザ予防接種 令和3年11月・12月に3回に分けて実施
- ⑥肺炎球菌ワクチン接種 令和3年9月実施
- ⑦心電図 医師の指示の下随時
- ⑧新型コロナウイルスワクチン接種 令和3年6月・7月・令和4年2月に実施

2) 日常検診

- 体温測定 毎日測定
- 血圧・脈拍測定 1週間に2回及び体調により随時
- 体重測定 月1回実施

3) 回診

- 嘱託医：菅沼和人医師：第1・3火曜と毎週木13：30からの回診
- ※ 訪問歯科診療・口腔ケア：1カ月に2回実施（牧野歯科医院大坂診療所）

4) 職員の健康管理

- 令和3年6月・7月 健康診断（全職員対象）実施
- 令和3年7月・8月 新型コロナウイルスワクチン接種
- 令和3年11月 インフルエンザ予防接種（職員全員）2回に分けて実施
- 令和4年1月 （夜勤従事者対象）実施

5) 機能訓練について

重度化が進む中、本人と家族意向を踏まえ、状態に合わせた個別機能訓練計画書を作成し、機能訓練をした。

6) 口腔機能について

牧野歯科による口腔ケア指導については、介護職と連携し実施した。

8 定例会議について

定例会議等については、今年度も毎月第3金曜日を会議の日とし、会議時間の短縮のため、資料の事前配布を徹底した。

1) 主な会議と委員会体制

会議名	開催時期	会議名	開催時期
代表者会議	月1回 第3金曜日	デイサービス会議	月1回
苦情処理委員会	月1回 第3金曜日	ショートステイ会議	月1回
防災会議	月1回 第3金曜日	ユニット会議	月1回 (ユニット毎)
給食会議	月1回 第3金曜日	医療的ケア対策会議	3か月毎
看護師会議	月1回 第3金曜日	サービス担当者・看取り会議	随時
特養リーダー会議	月1回 第3金曜日	衛生感染症委員会	3か月に月1回 第3金曜日
衛生委員会会議	月1回 第1金曜日	地域活動推進委員会	随時
夏祭り委員会	月2回 第2第4木曜日	事故対策委員会	3か月に月1回 第3金曜日
広報編集委員会	随時	身体拘束廃止委員会	3か月に月1回 第3金曜日

9 主な職員研修について

今年度も引き続き、コロナウイルスの影響を受け、リモートや動画を利用した外部・内部研修を中心に行った。職員は、リモートや動画研修にも慣れ、出張先への移動時間や経費が削減できた。また、交通安全研修の一環として、保険会社よりドライブレコーダーを借り送迎車等へ設置し、実際の運転状況の確認分析をしてもらった。

1) 施設外研修

月 日	研 修 名	部署	職種	人数	主催者
令和3年5月25日	衛生講習会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和3年6月8日	研修活用入門講座	特養	介護職員	1	静岡県社会福祉協議会
令和3年6月11日	静岡 DWAT 西部支部活動検討会	特養	介護職員	1	静岡県社会福祉協議会
令和3年7月8日他	ユニットリーダー研修	特養	介護職員	1	個室ユニット推進協議会
令和3年7月9日	排泄ケア Web セミナー	特養	介護職員	1	県人材センター
令和3年7月12日	ファシリテーション講座	特養	副施設長	1	県社会福祉協議会
令和3年7月15日	コロナウイルス感染症研修会	特養	主任	1	県老人福祉施設協議会
令和3年7月30日他	認知症介護実践者研修	特養	介護職	1	静岡県社会福祉協議会
令和3年8月18日他	人生としての介護職	特養	副施設長、他	3	介護労働安定センター
令和3年9月1日	LIFE の活用方法の実際	特養	ケアマネ	1	介護労働安定センター
令和3年10月25日他	介護福祉士実習指導者講習	特養	介護職員	1	静岡県介護福祉士会
令和3年11月10日	看護の質向上研修	特養	看護師	1	静岡県看護協会
令和3年11月17日	栄養士研修会	特養	栄養士	1	静岡県給食協会
令和3年12月3日	車椅子メンテナンスセミナー	特養	介護職員	1	静岡県人材センター
令和3年12月7日	感染防止対策施設訪問指導	特養	主任	1	静岡県病院協会
令和3年12月8日	認知症ケア	特養	副施設長	1	静岡県介護福祉士会
令和4年1月17日他	モチベーション向上セミナー	特養	介護職員	1	株式会社マイナビ
令和4年2月9日	モルテンオンラインセミナー	特養、他	介護職員	2	株式会社モルテン
令和4年2月25日	能力開発セミナー	特養	副施設長	1	介護労働安定センター

2) 施設内研修（ウェブまたは、映像研修）

月 日	研 修 名	部署	職種	人数
令和3年7月10日～	感染症研修（ノロ対応）	全部署	全職種	63
令和3年8月10日～	身体拘束廃止に係る研修①	特養、ショート	全職種	50
令和3年9月13日～	事故対策委員会（食事介助の注意）	特養	全職種	49
令和3年9月23日～	感染症研修（感染予防に配慮した排泄ケア）	特養	全職種	34
令和3年12月20日～	感染症研修（基本的な感染対策）	全部署	全職種	62
令和4年1月26日～	身体拘束廃止に関わる研修②	全部署	全職種	45
令和4年2月1日～	看取り研修	特養、ショート	全職種	41
令和4年2月11日～	身体拘束廃止に関わる研修③	特養、ショート	全職種	33
令和4年2月21日～	接遇研修	特養、ショート	全職種	33
令和4年3月1日～	事故対策委員会（緊急時の対応）	特養、ショート	全職種	23
令和3年3月1日～	介護技術（食事の介助）	特養	全職種	17

10 給食業務について

給食委託業者との契約が6年目を迎え、安心安全でより良い食事提供になるように委託会社と取り組むことができた。また、今年度は、前回の委託契約更新から3年を迎えたため、8月から次年度に向けた給食委託業者の選定準備を行い、10月に3社のプロポーザルを行った。その結果、新しい給食委託業者と契約することになり、4月からの給食業務が滞りなく遂行できるよう双方の委託会社と話し合いを重ねた。

例年行っている餅つき大会は、今年も規模を縮小しての開催となったが、杵を持つての写真撮影をする等、利用者から好評な意見を頂くことができた。また、喫茶ひまわりについても手作りのおやつに力をいれ、季節を感じることができる行事の一つとなるように心掛けた。設備管理については、冷凍庫1台の更新を行った。引き続き、厨房内の機器や衛生管理についても委託会社、設備会社と協力をしていく。

1) 行事食の実施状況

月	行事内容	月	行事内容
4月	季節の献立、刺身付き献立	10月	収穫祭膳、鉄火丼
5月	端午の節句献立、かつおの刺身献立	11月	季節の献立、餅つき大会
6月	初夏の献立	12月	開苑記念刺身献立、クリスマス、年越しそば
7月	七夕献立、カキ氷	1月	正月三が日、七草粥、鏡開きのお汁粉、甘酒
8月	納涼祭献立	2月	節分献立
9月	敬老祝い膳、紅白饅頭、秋の味覚	3月	ひな祭り、お彼岸、揚げ物屋

2) 衛生管理

検便（栄養士毎月、職員年2回）、厨房内の消毒、殺虫駆除（6月・11月）を実施し、衛生管理に努めた。

3) 栄養ケアマネジメント

栄養ケアマネジメントは、入所者の栄養向上のために昨年同様、他職種の協力を得て取り組んだ。

11 地域との交流について

今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染対策もあり、外であっても大人数を要する事業や直接利用者に関わる交流事業等を中止した。しかし、民生委員による外窓掃除、地元ボランティアや赤十字奉仕団による展示ボランティア、永福寺のご住職によるリモート説法、ちはまこども園とのリモート交流事業等、感染リスクの少ない交流で地域の方に様々な手助けをしていただいた。また、感染対策を行った上で小中学校等での福祉講話を延べ8回行ったり、くにやす苑北側交差点での交通安全街頭指導、静岡県が行う介護の未来ナビゲーター事業に参加したりした。これらの地域住民との交流の様子については、新聞媒体等を活用し取り組みの見える化等の情報発信を行った。

令和3年度 小笠老人ホーム 事業報告書

1 令和3年度の総括について

○重点目標について

- (1)「入所者の皆さんが、安心して楽しく生活が送れるよう、生活の質を維持向上させる為のサービスを提供する」

入所者に、健康で明るく心豊かな生活を送って頂けるよう、施設の維持管理に努め、安心安全を心掛けた。また、11月に行った入所者に対するアンケートの結果、施設全体の満足度は(満足+やや満足)66%、(普通)27%、(不満+やや不満)7%であった。やや満足以上の満足度は、昨年比で8%増加した。原因を調査した結果、①生花、手芸、体操などのクラブ活動や防災対策。②施設の危険箇所や利用しにくい箇所の解消に努めている施設の安全対策。③入所者と職員が一緒になって、施設内の清掃や施設廻りの草取りや花壇の手入れなどの環境美化に取り組んだことの満足度は高い傾向にあった。なお、食事の味付けや量、入浴の順番、新型コロナウイルス感染症対策のため、予定どおり実施出来なかった外食ツアーやショッピングなどの行事に対する不満や、入所者からの意見・要望については、分かり易く説明するなどの対応を行い、満足度の向上に努めた。

- (2)「支援(介護)の重度化への対応」

支援(介護)の重度化への対応として、介護保険利用前は、生きがいデイサービスを利用し、介護保険申請後は、デイケアやデイサービス、入浴のヘルパー派遣を利用した。

また、朝礼後には、入所者全員で体操や施設周辺への散歩を行い、健康維持や転倒防止に取り組んだ。なお、散歩については、入所者が歩いた距離を定期的に集計し、頑張って歩いたことが一目で分かるよう、玄関の壁に東海道五十三次宿場地図を掲示し、励みになる工夫を行っている。

2 利用動向について

前年度当初の入所者は47名で、6月に1名入所し48名となり、その後、8月に1名が退所し、47名となった。なお、令和3年度の月平均入所者数は、当初目標の46名を1.2名上回る47.2名、平均入所率は94.3%となり、昨年の月平均入所者数よりも4.1名増加した。

日常生活動作の低下等が進み、退所が見込まれる方もいる。安定経営を図るために、関係3市と包括支援センターに出向いて、入所対象者の掘り起こしの要望や施設の有効活用を図るため、法人単独事業の短期入所などのPRを積極的に行ったことにより、高い入所率を維持することが出来た。

- (1)入退所者状況 定員50名

月	入 所			退 所			入所者数(月末)			利用率(%)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
4	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
5	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
6	0	1	1	0	0	0	22	26	48	96
7	0	0	0	0	0	0	22	26	48	96
8	0	0	0	0	1	1	22	25	47	94
9	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
10	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
11	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
12	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
1	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
2	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
3	0	0	0	0	0	0	22	25	47	94
計	0	1	1	0	1	1	22.0	25.2	47.2	94.3

*退所理由 入院0名、自宅復帰0名、他施設1名、死亡0名

(2) 地区別入所者状況

令和4年3月末現在

市 名	男	女	計	比 率 (%)
菊川市	6	3	9	19.1
御前崎市	0	0	0	0.0
掛川市	13	19	32	68.1
磐田市	2	0	2	4.3
森 町	1	3	4	8.5
計	22	25	47	100%

(3) 介護認定の状況

令和4年3月末現在

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	1	1	0	2	0	0	0	4
女	0	1	3	2	0	0	0	6
計	1	2	3	4	0	0	0	10

(4) 身体障害者手帳・療育手帳取得の状況

令和4年3月末現在

手 帳 区 分	内 容	男	女	計
身体障害者	視覚障害	2	2	4
	聴覚言語障害	0	1	1
	肢体不自由	3	3	6
	精神	3	0	3
	内部障害	2	0	2
療 育	療育A	0	1	1
	療育B	2	0	2
計		12	7	19

(5) 短期入所利用状況（入所を前提としたショート利用）

項 目	令和3年度	(参考令和2年度)
利用者数	4名	(15名)
利用日数	94日	(82日)

3 職員体制について

○職員配置状況

※令和4年3月末現在：職員資格 介護福祉士11名 社会福祉主事3名

	施設長	相談員	支援員	事務員	看護師	栄養士	夜勤支援	宿直	嘱託医	合計
総 計	1	2	5	2	1	1	4	6	1	23
常 勤	1	1	4	1	1	0	0	0	0	8
8時間非常勤 (再雇用者含)	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
短時間等	0	0	0	1	0	0	4	6	1	12

4 行事報告について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事の中止や縮小を行った。日帰りバス旅行等の外出、いきいき交流会、園児との交流会は、感染症対策により中止となった。入所者が楽しみにしている外食ツアーは、店舗を貸し切りにする等コロナ対策を行った上で、1回実施することが出来た。また、3月に希望者には、市内飲食店に昼食を注文するテイクアウトを初めて行った。

実施月日	行 事	内 容
4月15日	おやつ作り	柏餅を作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者13名)
7月1日	七夕飾り	七夕飾りを作り、竹に願い事を書いた短冊と一緒に付けた。
7月8日	盆供養・法話	貞永寺住職によるお盆供養と法話・お念仏を唱えた。
7月9日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
7月29日	納涼祭	施設のみで、昼食を食べながら歌・踊り・余興を楽しんだ。
8月3日	外食ツアー	和食処「大松」で和食を楽しく食べた。(参加者：入所者20名、職員4名)
8月6日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
8月26日	かき氷喫茶	おやつにかき氷を作り楽しく食べた。
9月14日	敬老会（懇親会）	入所者と職員で敬老会式典を行った。
9月14日	彼岸供養・法話	貞永寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。
10月7日	夜間避難訓練	夜間支援員、宿直管理人、日勤職員が参加し、夜間避難訓練を行った。
10月28日	おやつ作り	さつま芋クッキーを作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者10名)
12月2日	忘年会	入所者と職員で踊りと歌、余興を行い、楽しい時間を過ごした。
12月23日	クリスマスケーキ	たこ満のカップケーキをおやつ時に食べた。
2月3日	節分	玄関で年男・年女による豆まきを行い、福を迎え鬼は追い出した。
2月17日	カラオケ会	入所者と職員の歌の披露で楽しんだ。
2月21日	お花見(梅)	黒田代官屋敷に「梅の花」を見に行った。(参加者：入所者9名、職員5名)
3月8日	彼岸供養・法話	高松寺住職によるお彼岸の供養と法話・お念仏を唱えた。
3月17日	おやつ作り	芋きんぽを作り、おやつ時に食べた。(参加者：入所者10名)
3月24日	昼食テイクアウト	「ななみ支店」に昼食を注文し、楽しく食べた。(参加者：入所者23名)
3月28日	お花見(桜)	北運動場と貞永寺に「桜の花」を見に行った。(入所者10名、職員4名)

5 防災訓練について

職員が少ない日直及び夜勤体制下での火災発生を想定した避難訓練を重点的に実施した。

なお、高齢化に伴い、歩行が不安定な入所者が増えているため、職員が少ない時にどう判断し、どのように行動することが適切であるのか見直しを行った。また、昨年に引き続き、地震発生を想定し、本部及び各編成班の機能が、効果的に発揮することを目的とした訓練を実施した。

地域の協力体制は不可欠であるため、10月と12月に合同の防災訓練を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策を優先し、地域の方の参加は取り止め、入所者と職員で行った。

入所者、職員とも、現在の施設や地域の状況を踏まえ、安全が確保できる取り組みが定着してきている。

実施月日	訓 練 種 別	目 的 ・ 内 容
4月19日	避難誘導訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。
4月22日	情報伝達訓練	各職員へ電話による情報伝達訓練を行った。

実施月日	訓練種別	目的・内容
5月16日	情報伝達訓練	各職員へラインによる情報伝達訓練を行った。
5月20日	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。
5月25日～ 5月30日	夜勤職員防災設備 の点検	夜勤職員が防災器具の設置状況を確認した。
6月8日	避難誘導訓練 消火栓放水訓練	夜勤体制下における火災発生を想定し、消火活動・避難誘導訓練を実施した。また、消火栓の正しい使用方法の確認も行った。夜勤支援員及び管理人も参加するよう呼びかけた。
7月15日	避難誘導訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。
8月10日	土砂災害及び風水害 訓練	土砂災害及び風水害時に職員が円滑かつ迅速な対応ができ、利用者の安全を確保することを目的に行った。
9月16日	地震総合防災訓練	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。
10月7日	避難誘導訓練（夜間）	夜間帯での避難訓練を実施することで、少ない職員体制での動きの基本を確認し、入所者の安全を確保することを目的に行った。
11月11日	避難誘導訓練 非常通報装置訓練	日直体制下における火災発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、実際に消防署に火災の通報をし、消防署からの返信に応える訓練も実施した。
12月16日	地震防災訓練	日勤体制下における突発地震発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また、入所者を交え、発電機・投光器の使い方のデモンストレーションを行った。
1月20日	地震防災訓練	南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が発せられたと想定し、災害応急対策訓練を実施した。職員は本部を立ち上げ、入所者の安全確認を行った。また、担当班に分かれて課題解消に向けての話し合いを行った。
2月3日	地震防災訓練	夜勤体制下における突発地震発生を想定し、避難誘導訓練を実施した。また訓練終了後、非常時の炊き出し訓練を行った。
3月10日	避難誘導訓練 非常通報装置訓練 消火器消火訓練	日勤体制下における火災発生を想定し、通報・消火活動と避難誘導訓練を実施した。

6 ボランティアの状況について

実=実人数 延=延べ人数 団体（）=団体数

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1
団体	0 (0)	0 (0)	11 (1)	11 (1)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	11 (1)	0 (0)	11 (1)
月	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延	実	延
個人	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
団体	21 (2)	32 (3)	0 (0)	32 (3)	11 (1)	43 (4)	0 (0)	43 (4)	0 (0)	43 (4)	0 (0)	43 (4)

7 健康管理について

入所者の身体能力に応じ、自立した生活ができ、又維持できるように、朝礼後に朝の体操を実施した。また、真夏や真冬、梅雨等で散歩ができない時期には、ビデオ体操を日に2回行った。散歩は施設周りや施設を出た外周りのコースを設け、各自が体調に応じて参加した。

入所者の高齢化に伴い、筋力低下、認知力、視力の低下が見られ、転倒が19件あった。また、場所は風呂場、集会室、トイレ、廊下、居室、食堂であった。内訳は、2回転倒した方5名、3回転倒した方1名、他7名は1回転倒であった。昨年度に比べ転倒者はやや減少したが、同じ方が何度も転倒している。転倒による骨折はないが、1名腰椎圧迫骨折があった。(骨粗鬆症によるもので、外傷のものではない)他に誤薬が1件あり、職員の確認不足であった(配薬時名前の確認の徹底)、食事中に食べ物を詰まらせたもの1件、義歯を使用していたが良く噛んでいなかった為、食物がそのまま喉に引っかかり、職員が直ぐに対応。現在は刻み食にて様子を見ている。外傷が3件、いずれも自己の不注意によるものにて、履物や動作に注意する。無断外出が7件あり、そのうちの5件が1人の方となる。いずれも自己の欲求が満たされない事によるものだが、個々の対応が難しく、今後も対応の仕方など課題となる。今後も体操や散歩を継続し、レクリエーション活動にも積極的に参加するよう声掛けを行い、体力維持を図っていく。

他に入所者の多様化に伴い、精神疾患を患い精神科や嘱託医に通院している入所者が10名いる。内服で落ち着いている方もあれば、精神科へ受診し相談しているが、落ち着きがなく多動多弁の方や被害妄想が強く不穏にて周りの入所者に迷惑をかけている方もおり、職員も相談しながら対応している。実際問題かなり対応が難しい為、精神科へ早めに受診を行い、その都度医師に相談して対応している。

○定期健診結果について

		異常なし	心配なし	経過観察	治療継続	要精査	要治療	合計
1回目	令和3年8月19日	2名	15名	24名	2名	3名	1名	47名
2回目	令和4年2月24日	1名	17名	27名	1名	0名	0名	46名

(注) 1回目の定期健診は、47名が行った。健診結果は、要治療の方が1名あり、HbA1cが高い為嘱託医指示にて運動や食事療法での経過観察となった。

2回目の健診は、入所者47名、1名は妄想性障害で入院中のため46名が行った。健診結果は、要精査や要治療者はなく、心配なしや経過観察者が大半を占めた。

また、今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念されたため、検温、マスク、手洗い、手指消毒の励行や環境整備として居室の換気を行うと共に、ロビーや集会室では空気清浄機を設置し、適度な温度や湿度調整を図り、快適な居住環境に努めた。

(1) 入所者の主な健康管理について

- ①定期健診 第1回目 令和3年8月19日 胸部レントゲン、採血、検尿
入所者47名実施
第2回目 令和4年2月24日 採血、検尿
入所者47名中46名実施(1名入院中)

- ②歯科検診、受診 令和3年4月8日～令和4年2月24日の間に38名が受診した。
検診、受診は、第2・4木曜日に行った。
入所者47名中歯科治療者は20名であった。
問題なし10名、治療した方が良い方(急ぎでない方)9名
治療希望者: 往診19名、牧野歯科通院1名
新規義歯・部分入れ歯作製6名

※今年度も義歯の不具合のある入所者が多数を占めた。歯科検診、治療を行うことにより、義歯が落ちることなく、しっかりはまるようになり、「食事が食べやすくなり美味しくなった。」「かみしめられるようになった。」「話しやすくなった。」等の効果が見受けられた。今まで在宅だった方で、義歯が合わなく、義歯を作製した方があり、義歯を調整しながら使用しているが、長年義歯なしで作製した方は、使い慣れるまでに時間がかかった。歯の習慣は一人ひとり違う為、

歯科医が義歯の作製を勧めても、本人の意思で長年義歯なしでいる方もいる。一概に義歯を作製するのが良いわけではなく、本人の意向を踏まえ、今後も様子を見ていく必要性を感じた。今年度は虫歯の治療者が多く、治療に3ヶ月～1年以上要している方もいる。(虫歯の本数が多い為、部分義歯になる方もいる)

③インフルエンザ予防接種 令和3年11月11日実施

入所者47名中46名実施(1名拒否)

④高齢者肺炎球菌ワクチン接種 令和3年9月16日 6名実施

肺炎予防に努めている

⑤新型コロナウイルスワクチン接種 1回目 令和3年6月17日 42名

2回目 令和3年7月8日 42名

3回目 令和4年2月17日 43名

上記で接種できなかった方: 1回目 令和3年7月27日、29日 各2名

2回目 令和3年8月17日、19日 各2名

3回目 令和4年2月24日 2名

入院者1名 令和4年2月8日(入院先で実施)

*いずれも1名拒否あり不接種。

(2) 日常検診 血圧測定・体重測定は月1回、身長測定は年1回実施した。

(3) 菅沼和人嘱託医(菅沼医院)による診察

①来診日 毎月第3木曜日 午後3時から診察(体調不良者診察、健康管理指導)

②通院日 毎月第2・4火曜日 午後1時30分から診察

8 定例会議について

会議名	開催時期	会議名	開催時期
職員会議	月1回	わかば会役員会	月1回
ケア部会	月1回	感染対策委員会	年4回(5, 8, 11, 2月)
調理部会	月1回	組合連絡会	月1回
わかば会(入所者)	月1回	組合議会・監査	年各2回(7, 8, 3月)
事故防止委員会	月1回	身体拘束廃止委員会	年4回(4, 7, 10, 1月)

9 主な職員研修について

(1) 施設(法人)外研修

月日	研修名	研修場所	主催者	参加者
4月15日	地域連携プロジェクト 「栄養士と仲良くなろう」	Web研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
4月20日	介護報酬改定のポイント	Web研修	日本栄養士会	栄養士 松井
5月14日	新しい生活様式における福祉施設のあり方について	Web研修	静岡県老人福祉施設協議会	相談員 柴田
5月20日	地域連携プロジェクト 「どうする?在宅・施設におけるコロナワクチン接種」	Web研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
5月25日	新型コロナ初動と隔離	Web研修	給食協会掛川支部	栄養士 松井

月 日	研 修 名	研修場所	主 催 者	参 加 者
5 月 27 日	施設長研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	施設長
6 月 13 日	2020 摂取基準改定活用について	Web 研修	栄養士会	栄養士 松井
6 月 15 日	施設長研修会	Web 研修	静岡県老人福祉施設協議会	施設長
6 月 17 日	地域連携プロジェクト 「福祉用具の専門職と仲良くなろう」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
6 月 19 日	介護報酬改定の概要について	Web 研修	静岡県栄養士会&ヘルシーフード	栄養士 松井
6 月 22 日	中公老 栄養士・調理員研修	Web 研修	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	栄養士 松井
6 月 24 日	栄養士研修会	Web 研修	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	栄養士 松井
7 月 13 日	新型コロナウイルス感染症対策研修会	Web 研修	静岡県老人福祉施設協議会	相談員 岡本
7 月 14 日	地域連携プロジェクト 「在宅における皮膚疾患対応」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
7 月 19 日	非常時に求められる心理学的対処	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
7 月 22 日	障がいのある子どもの食事動作の評価と指導のポイント	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
7 月 28 日	相談員研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	相談員 岡本
7 月 30 日	食と栄養をビジネスに	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8 月 2 日	栄養・そして、管理栄養士への期待	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8 月 9 日	個々の生活習慣に関して指導できる能力	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8 月 9 日	磨きをかけよう！特定保健指導の Q&A	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8 月 19 日	地域連携プロジェクト 「これからどうなる」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
8 月 24 日	慢性腎臓病に対する栄養指導	Web 研修	日本栄養士会	栄養士 松井
8 月 31 日	事務員研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	事務員
9 月 2 日	西部支部研修会	Web 研修	静岡県老人福祉施設協議会	施設長
9 月 16 日	地域連携プロジェクト 「ひとり ひとりのすっきり気持ち良い排便を考える」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
10 月 21 日	介護職のための薬の基礎知識	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	栄養士 松井

月 日	研 修 名	研修場所	主 催 者	参 加 者
11 月 2 日	急変を見逃さないための救急講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	看護師 杉山
11 月 5 日	支援員研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	支援員 荒木
11 月 10 日	フットケア講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 熊切
11 月 17 日	「HACCP に沿った衛生管理」「第 4 次食育推進基本計画」	Web 研修	静岡県給食協会掛川支部	栄養士 松井
11 月 18 日	地域連携プロジェクト 「明日からすぐ使えるとろみ付けを体験しよう」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
11 月 19 日	第 2 回後方支援施設との連携会議	Web 研修	中東遠総合医療センター	相談員 岡本
11 月 22 日	人を動かす仕掛け学講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 岡本
12 月 3 日	福祉職場のストレスマネジメント講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 荒木
12 月 10 日	介護職が知っておきたい高齢者の褥瘡・皮膚ケア講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 瀧井
12 月 13 日	施設長・相談員研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	施設長・相談員
12 月 16 日	地域連携プロジェクト 「ケアマネジャーの仕事を知ろう」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
12 月 16 日	認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 石川
12 月 22 日	意思決定支援講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	相談員 柴田
11 月 12 日	社会福祉施設・事業所の B C P 実践編	Web 研修	静岡県老人福祉施設協議会	施設長
1 月 20 日	地域連携プロジェクト 「地域多職種連携における調剤薬局の新たな価値」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
2 月 5 日	「食物アレルギーとプロバイオテクス」	Web 研修	静岡県栄養士会西部ブロック	栄養士 松井
2 月 17 日	地域連携プロジェクト「社会福祉士による転院調整・役割、その意味とは」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井
2 月 24 日	介護職が知っておきたい利用者の身体観察のポイント講座	Web 研修	静岡県社会福祉人材センター	支援員 長嶋
3 月 2 日	看護師研修	書面による情報交換	中部地区公立養護老人ホーム施設職員連絡協議会	看護師 杉山
3 月 8 日	施設長研修会	Web 研修	静岡県老人福祉施設協議会	施設長
3 月 17 日	地域連携プロジェクト 「WOC ナース地域に出る」	Web 研修	医療法人社団綾和会 掛川東病院	栄養士 松井

10 給食業務について

(1) 行事食の実施状況

- ①令和2年度から令和4年度までの3年間の給食業務は、大東給食センター等の給食業務を受託し、施設給食に対する考え方や災害、防災時の対応などが優れている（株）魚国総本社に業務委託を行っている。
- ②毎月の誕生会は、誕生月の方から食事の希望を聞き、喜ばれる献立作りに努めた。また、行事食は季節に合った食材を活用した。
- ③コロナ禍の中、食材調達困難や流通不良などによる食材高騰に対応する為、代替品として品質の優れた冷凍野菜を取り入れるなどして、食べやすく美味しい食事を提供した。
- ④小笠老人ホーム敷地内の畑で採れた新鮮で安心安全な野菜を使用することが出来た。
- ⑤年3回入所者と一緒に行う手作りおやつ献立は、支援員と連携して考えた。

月	行 事	献 立 表
4 月	誕生会	あられ寿司・天ぷら（きす、かぼちゃ、かきあげ）・ほうれん草じゃこチーズ和え・澄まし汁（かまぼこ、玉葱、人参、三つ葉）・桜餅
5 月	誕生会	カツカレー・土佐豆腐・ラーメンスープ（ナルト、メンマ、葱）・フルーツ牛乳羹
6 月	誕生会	いなり寿司・太巻き寿司・鶏の唐揚げ・白菜の胡麻沢庵和え すまし汁（椎茸、かいわれ大根、卵）・日向夏のロールケーキ
7 月	誕生会	ご飯・うなぎの蒲焼・青じその実漬け・冷製炊き合わせ（南瓜、なす、おくら） すまし汁（えのき茸、わかめ、ナルト）・ロールケーキとアイスクリーム
	納涼祭	ミニ赤飯にぎり・いなり寿司・焼きそば・チキンナゲット・フライドポテト・リンゴジュース・ホットコーヒー・緑茶・水まんじゅう・フルーツ（すいか、ぶどう）
8 月	誕生会	五目御飯・フライ盛り合わせ（海老、茄子、南瓜、ピーマン）・豆腐サラダ・すまし汁（そうめん、かまぼこ、葱）・クリームあんみつ
9 月	敬老会	赤飯・金目鯛の煮付け・冷やし茶碗蒸し・ほうれん草とワカメのポン酢和え・すまし汁（花麩、そうめん、葱）巨峰・オレンジ・茄子しば漬 おやつ：フルーツロールケーキ
	誕生会	鮭の散らし寿司・ポテサラ入り竹輪天・野菜の天ぷら（南瓜、舞茸）・梅肉和え・おでんゆず味噌かけ・マンゴープリン
10 月	誕生会	海鮮丼（鮪2枚、サーモン1枚、すしエビ1枚、ねぎとろ）・すまし汁（花麩、三つ葉、ゆず）・茶碗蒸し・さつま芋のスイートサラダ・ドームケーキトッピング
11 月	誕生会	ご飯・お刺身（まぐろ3、かんぱち1、寿司えび、つま、青じそ、甘酢生姜）・即席漬け・小田巻蒸し・すまし汁（ほうれん草、人参、花麩）・クリームコンフェ
12 月	誕生会	お桜ご飯・海老ときすと野菜の天ぷら・山かけ・卵の花酢和え・清まし汁（玉葱、かまぼこ、人参、三つ葉）・栗ようかん
	忘年会	ご飯・すき焼き風一人鍋・温泉卵・さつま芋のスイートサラダ・清まし汁（湯葉、三つ葉）・りんごのコンポート お菓子バイキング（どらやき、ドームケーキ、エクレアより選択）
1 月	誕生会	鉄火丼・さつま芋のスイートサラダ・すまし汁（湯葉、三つ葉）・茶碗蒸し フリーカットケーキ（ベリー）
	お正月	三箇日おせち料理・七草粥・鏡開きお汁粉
2 月	誕生会	天丼（海老、きす、なす、かきあげ）・茶碗蒸し・胡瓜とワカメの酢の物・豚汁・大福餅
3 月	誕生会	ご飯・うどん入りすき焼き風煮・温泉卵・りんごのシャキシャキサラダ・清まし汁（かまぼこ、三つ葉、玉葱）・抹茶シフォンケーキ

(2) 衛生管理

【保菌検査】保菌検査を栄養士は、毎月実施した。なお、6月から9月までの食中毒多発期間の4ヶ月間は、月2回実施した。

看護師、介護職員は、4月、7月、10月、1月の4回実施し、夜間支援員、宿直管理人は、5月、8月、11月、2月の4回実施した。

(3) 栄養ケア・マネジメント

①日常の摂取状況、血液検査（年2回）、体重（毎月）・身長（2回/年）から割り出すBMI（体格指数）の状況から、支援員、看護師、相談員、栄養士の4者で、食事調整を行った。

②適切な栄養ケア・マネジメントにより、入所者個々（療養食含む）の健康管理を行った。

③入所者に係わる必要な情報を給食委託業者に伝え、個々の状態を理解して頂き、安全で美味しい食事の提供に努めた。

(4) その他

①感染症予防の対策として、職員に食中毒・感染症等発生時の対処の仕方を指導した。

また、給食業務委託業者調理員の保菌検査や衛生研修状況を確認した。

②毎月1回調理部会を開催し、課題解消を目的とした情報交換等を行った。

③毎月の献立・食材料・栄養価の確認を行った。

④保存食の検品は、給食業者と漏れのないように、お互いにチェックを行い、記録に残した。

⑤行事食について、温かいものを温かいうちに摂取して頂く為に、卓上コンロの活用や温蔵保管を行った。なお、冷たい物は、配膳するまで冷蔵庫保管とした。

⑥乳和食の導入や入所者の要望に応えカウンターに一味唐辛子、胡椒、タバスコ等を置き、減塩に努めた。

⑦日曜日の朝食メニューの主食をパン食にしたところ、入所者に高評価で定着した。

1.1 施設整備（修繕）について

組合予算も活用して、施設整備（修繕）や備品購入を実施した。

区 分	No	主 要 な 項 目	目 的	法人・組合の別
施 設 整 備 (修繕)	1	居室他網戸張替え修繕	衛生・安全対策	法 人
	2	給食事務所内ボイラ用リモン取替	老朽化・節電対策	法 人
	3	洗濯場テラス屋根出幅延長工事	環境改善・安全対策	組 合
	4	自動火災報知機更新	老朽化・安全対策	組 合
	5	静養室トイレと洗面台設置のため 給水・排水・付帯設備工事	感染症対策 衛生・安全対策	組 合
	6	作業室・事務所・面会室の空調機 更新	老朽化・環境改善 対策	組 合
備品購入	7	食器洗浄機(厨房) 1台	新型コロナウイルス感染症 衛生・安全対策	組 合
	8	全自動洗濯機 1台	老朽化対策	法 人
	9	支援室ノートパソコン 1台	業務改善対策	法 人
	10	充電式ヘッジトリマ(剪定機) 1台	老朽化・環境改善 対策	法 人